

IX. 参考資料

1. アンケート調査票

令和2年度老人保健健康増進等事業 ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る調査研究事業 アンケート調査票

【事業の趣旨（目的）】

高齢者によるハンドル形電動車椅子を使用中の死亡・重傷事故が依然として続いています。この死亡・重傷事故の現状を踏まえ、介護保険制度において、ハンドル形電動車椅子のサービス提供を行っている福祉用具専門相談員の取り組みの実態を把握し、有効な事故防止策の提言につなげることを本事業の目的としています。

そのため、福祉用具専門相談員を対象に、担当した事例にもとづいた、貸与可否を判断する際の基準やその内容、事故防止の対応等について、アンケート調査を実施することといたしました。

このアンケート調査は、福祉用具貸与におけるハンドル形電動車椅子の使用上の事故防止に向けたガイドラインや利用者への安全利用に係る指導手順書等の策定につながる重要な調査となります。

何卒、アンケート調査へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

【本アンケートの調査項目の内容と構成】

- I. 事業所の基本情報
- II. ハンドル形電動車椅子の貸与事例について
- III. ハンドル形電動車椅子に対する対応について
- IV. ハンドル形電動車椅子に関する事業所の対応について

【ご記入にあたってのお願いとご注意】

- ・令和2年10月23日（金）までにWeb画面または調査票でのご回答とご返送をお願い致します。
- ・Web画面のURL、ログイン情報は同封の案内状をご覧ください。
- ・ハンドル形電動車椅子の貸与を行った直近の実事例をもとにご回答ください。
- ・上記実事例をご担当された福祉用具専門相談員お一人がご記入ください。
※可能であれば福祉用具専門相談員としての経験年数が5年以上の方にご記入をお願い致します。
- ・事業所全般に関する質問につきましては、適宜、事業所の管理者等にご確認の上でご記入ください。

【ハンドル形電動車椅子について】

ハンドル形電動車椅子とは、JIS規格上の「JIS T9208自走用ハンドル形」として規定された、ハンドルによって向きを変えることのできる電動車椅子及びこれと同様の構造を持つ電動車椅子のことをいうものとします。

ハンドル形電動車椅子は、「電動カート」、「シニアカー」、「セニアカー（スズキ株式会社の登録商標）」とも呼ばれています。



※本調査においては、ジョイスティック型電動車椅子は含まれませんのでご注意ください。

I. 貴事業所の基本情報

※ご自身でわからない場合は、事業所の上司や管理者の方などにご確認のうえご回答ください。

【1. 貴法人に関する情報について】

法人名：			
事業所名：			
所在地：			
電話番号： ※アンケート調査に関してご連絡させていただくことがあります。			
貴法人が運営する福祉用具貸与事業所の総数： _____ か所			
貴法人が運営する福祉用具貸与事業所の従業員数： _____ 名			
【内訳】福祉用具専門相談員： _____ 名			
事務員： _____ 名			
その他： _____ 名（職種 _____）			
福祉用具専門相談員の経験年数別人数：			
1年未満 _____ 名	1～5年未満 _____ 名	5～10年未満 _____ 名	10年以上 _____ 名
事業所におけるハンドル形電動車椅子の貸与台数： _____ 台 ※2020年7月末時点			
事業所におけるハンドル形電動車椅子の調達方法：			
1. 主に自社で調達・保有 2. 主にレンタル卸を利用 3. 「1」と「2」を併用			

【2. 記入者の情報について】

福祉用具専門相談員としての経験年数： _____ 年 ※これまでの通算の経験年数（数カ月は切り捨て）で回答してください。			
福祉用具専門相談員以外に保有している資格（○はいくつでも可）：			
1. 保健師	2. 看護師	3. 准看護師	4. 理学療法士
5. 作業療法士	6. 社会福祉士	7. 介護福祉士	8. 義肢装具士
9. 介護支援専門員	10. 介護職員初任者研修	11. 実務者研修	12. その他（ _____ ）
13. 特になし			

II. ハンドル形電動車椅子の貸与事例について

【1. 利用者の基本情報】

直近でハンドル形電動車椅子の貸与を行った利用者の基本情報についてお伺いします。該当する数値や病名の記入もしくは、あてはまるものに○印をつけてください。

1	年齢（貸与時）	歳	
2	性別	男 ・ 女	
3	介護度	要支援1 ・ 要支援2 ・ 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5	
4	身長 / 体重	cm /	kg
5	移乗	介助されていない ・ 見守り等 ・ 一部介助 ・ 全介助	
6	座位保持	できる ・ 自分の手で支えればできる ・ 支えてもらえればできる ・ できない	
7	屋内歩行	つかまらないでできる ・ 何かにつかまればできる ・ 一部介助 ・ できない	
8	屋外歩行	つかまらないでできる ・ 何かにつかまればできる ・ 一部介助 ・ できない	
9	移動	介助されていない ・ 見守り等 ・ 一部介助 ・ 全介助	
10	意思の伝達	意思を他者に伝達できる ・ とくどき伝達できる ・ ほとんど伝達できない ・ 伝達できない	
11	視覚	普通(日常生活に支障がない) ・ 約1m離れた視力確認表の図が見る ・ 目の前においた視力確認表の図が見える ・ 見えているのか判断不能	
12	聴覚	普通 ・ 普通の声がやっと聞こえる ・ かなり大きな声なら何とか聞き取れる ・ ほとんど聞こえない ・ 聞こえているのか判断不能	
13	外出頻度	週1回以上 ・ 月1回以上 ・ 月1回未満	
14	日常の意思決定	できる ・ 特別な場合を除いてできる ・ 日常的に困難 ・ できない	
15	主な疾病	(・)	
16	麻痺	上肢： 有 ・ 無	下肢： 有 ・ 無
17	筋力低下	上肢： 有 ・ 無	下肢： 有 ・ 無
18	障害高齢者の日常生活自立度	自立 ・ J1 ・ J2 ・ A1 ・ A2 ・ B1 ・ B2 ・ C1 ・ C2	
19	認知症高齢者の日常生活自立度	自立 ・ I ・ II ・ IIa ・ IIb ・ III ・ IIIa ・ IIIb ・ IV ・ M	
20	生活環境	独居 ・ 配偶者との2人暮らし ・ 子との2人暮らし ・ その他	
21	他のサービス利用状況	訪問介護 ・ 訪問看護 ・ 訪問リハビリ ・ 訪問入浴 ・ 通所介護 ・ 通所リハビリ	
22	利用している福祉用具	車椅子（付属品含）※今回質問のハンドル形電動車椅子を除く ・ 特殊寝台（付属品含） ・ 床ずれ防止用具 ・ 体位変換器 ・ 手すり ・ スロープ ・ 歩行器 ・ 歩行補助つえ ・ 認知症老人徘徊感知機器 ・ 移動用リフト（つり具の部分を除く） ・ 自動排泄処理装置	
23	杖の使用 (貸与品を除く一本杖等)	使用している ・ 使用していない	
24	ハンドル形電動車椅子の保管場所	玄関内 ・ 倉庫 ・ ガレージ ・ 軒先 ・ その他 ()	
25	自動車運転免許の保有歴	あり ・ なし	

- (10) 貸与可否を検討する際の判断項目として、最も重視したことは何でしたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 使用目的
 2. 利用者の身体状況
 3. 利用者の操作能力
 4. 使用環境
 5. その他 ()
- (11) 貸与可否を検討する際、参考として誰の意見を聞きましたか？
該当するすべての番号に○印をつけてください。
1. 利用者本人
 2. 家族
 3. 介護支援専門員
 4. 医師
 5. 看護師
 6. 理学療法士・作業療法士
 7. 介護職
 8. その他 ()
- (12) 貸与可否を検討する際、関係者間において意見は分かれ了吗か？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 意見が分かれた → (13) へ
 2. 意見は分かれなかった (全員一致) → 【4.(1)】 へ
- (13) (12)で「1. 意見が分かれた」に○印をつけた方にお聞きします。
意見が分かれたにも関わらず、貸与を決定した理由を記載してください。

理由)

【4. 貸与にあたっての使用法の指導や、使用上における注意喚起について】

(1) 利用者に対して操作手順や注意事項等をどのように伝えましたか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 利用者個々の動線の写真や地図等を作成し、操作手順や注意事項を伝えた
2. メーカー等が発行している冊子を使用して、操作手順や注意事項を伝えた
3. 福祉用具サービス計画書の留意事項に記載して、操作手順や注意事項を伝えた
4. 書面等は使用せず、口頭のみで操作手順や注意事項を伝えた
5. その他 ()

(2) 利用者の使用環境で確認した事項は何ですか？

該当するすべての番号に○印をつけてください。

1. 坂道 →○を付けた方は、(3) へ
2. 踏切 →○を付けた方は、(7) へ
3. 自動車交通量
4. 自転車交通量
5. 歩行者通行量
6. 路面の状態（舗装や悪路等）
7. 路肩の傾斜
8. 道幅（歩道幅）
9. 横断歩道
10. 段差・縁石・側溝
11. 信号（青の時間の長短など）
12. 交差点
13. トンネル
14. 車庫とその出入口
15. その他 ()

※「1. 坂道」「2. 踏切」に○印が付かなかった方は、【5. - (1)】へ

※【4. - (2)】で「1. 坂道」に○印をつけた方のみにお聞きします。

(3) 坂道のリスクの度合いについて、どのように説明しましたか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 坂道のリスクの度合いについて、福祉用具サービス計画書等の書面と口頭で説明した
2. 坂道のリスクの度合いについて、口頭のみで説明した
3. 説明しなかった
4. その他 ()

(4) 坂道を走行中に不測の事態が発生した場合を想定し、周囲へ緊急事態を知らせる方法を予め検討しましたか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 利用者や介護支援専門員等と一緒に検討した
2. 介護支援専門員とだけ検討した
3. 利用者とだけ検討した
4. 検討しなかった
5. その他 ()

(5) 坂道の傾斜角度はどのくらいでしたか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 傾斜角度 10 度以上
2. 傾斜角度 10 度未満
3. 確認しなかった

- (6) (5)で「1. 傾斜角度 10 度以上」「2. 傾斜角度 10 度未満」に○印をつけた方にお聞きします。傾斜角度をどのように確認しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 現地に行き、ハンドル形電動車椅子の登降坂性能のに関する警告機能で確認した
 2. 現地に行き、計器等を使用して傾斜角度を確認した
 3. 現地に行き、目視のみで傾斜角度を確認した
 4. 地図等（グーグルマップ等を含む）で確認した
 5. その他（)

※【4. - (2)】で「2. 踏切」に○印をつけた方のみにお聞きします。

- (7) 踏切があるかどうかをどのように確認しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 現地に行き、踏切のリスクの度合い（横断距離や踏切道側面の段差高さ等）について計器等を使用して確認した
 2. 現地に行き、踏切のリスクの度合い（横断距離や踏切道側面の段差高さ等）について目視のみで確認した
 3. 地図等（グーグルマップ等含む）で確認した
 4. 確認しなかった
 5. その他（)
- (8) 踏切のリスクの度合い（横断距離や踏切道側面の段差高さ等）について、どのように説明しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 踏切のリスクの度合いについて、福祉用具サービス計画書等の書面と口頭で説明した
 2. 踏切のリスクの度合いについて、口頭のみで説明した
 3. 説明しなかった
 4. その他（)
- (9) 踏切で緊急事態が発生した場合において、周囲へ緊急事態を知らせる方法を予め検討しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 利用者や介護支援専門員等と一緒に検討した
 2. 介護支援専門員とだけ検討した
 3. 利用者とだけ検討した
 4. 検討しなかった
 5. その他（)

【5. 貸与後のモニタリング（利用状況の確認等）について】

- (1) 当該事例において、モニタリングは実施しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 実施した → (2) へ
 2. 実施していない → 【6. - (1)】 へ
- (2) モニタリングはどのくらいの頻度で実施しましたか？
該当する番号1つに○印をつけてください。
1. 毎月実施
 2. 2カ月毎に実施
 3. 3カ月毎に実施
 4. 6カ月毎に実施
 5. その他（)

(3) (2) で記載したヒヤリハットのケースに関し、その後も貸与を継続しましたか？

該当する番号1つに○印をつけて下さい。

1. 貸与を継続した → (4) へ

2. 貸与を中止した → 【2. - (1)】 へ

3. その他 ()

(4) (3) で「1. 貸与を継続した」と答えた方に伺います。

貸与を継続した理由や、利用継続にあたり指導した内容等を具体的にご記入ください。

<貸与を継続した理由>

<指導した内容>

【2. ハンドル形電動車椅子に関する研修（教育）について】

(1) 利用者がハンドル形電動車椅子を安全に使えるように、利用者向けに体験型訓練等を交えた安全講習会の実施または参加したことがありますか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. ある

2. ない

(2) ハンドル形電動車椅子に関する福祉用具専門相談員向けの社内研修は直近1年間で何回受講しましたか？回数をご記入ください。

社内研修	回/年
------	-----

(3) ハンドル形電動車椅子に関する福祉用具専門相談員向けの社外研修は直近1年間で何回参加しましたか？回数をご記入ください。

社外研修	回/年
------	-----

IV. ハンドル形電動車椅子に関する事業所の対応について

※ここからの設問は貴法人の事業所全般にかかわる事項について伺います。ご自身でわからない場合は、事業所の上司や管理者の方などにご確認のうえご回答ください。

【1. ハンドル形電動車椅子に関するマニュアル等の整備状況について】

- (1) ハンドル形電動車椅子を貸与する際の進め方などをまとめた基本フローや業務の流れをまとめた貴事業所のマニュアルはありますか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. ある → (2) へ
2. ない → (3) へ

- (2) (1)で「1. ある」に○印をつけた方にお聞きします。

貴事業所のマニュアルは何を参考に作成されましたか？

該当するすべての番号に○印をつけてください。

1. 財団法人テクノエイド協会
「福祉用具シリーズ Vol.13 電動三輪車四輪車使い方手引き」
2. 電動車いす安全普及協会
「一安全にご利用いただくために一電動車いす安全利用の手引き」
3. 公益財団法人日本交通管理技術協会
「電動車いすの安全利用の手引き～安全で豊かな日常生活を送るために～」
4. 各社メーカーが作成している冊子等
5. 特に参考にしたものはない
6. その他 ()

- (3) (1)で「2. ない」に○印をつけた方にお聞きします。

貸与する際に参考にされているマニュアルは何ですか？

該当するすべての番号に○印をつけてください。

1. 財団法人テクノエイド協会
「福祉用具シリーズ Vol.13 電動三輪車四輪車使い方手引き」
2. 電動車いす安全普及協会
「一安全にご利用いただくために一電動車いす安全利用の手引き」
3. 公益財団法人日本交通管理技術協会
「電動車いすの安全利用の手引き～安全で豊かな日常生活を送るために～」
4. 各社メーカーが作成している冊子等
5. 特に参考にしているものはない
6. その他 ()

【2. 事業所における貸与後のモニタリング（利用状況の確認等）について】

- (1) モニタリングはどのくらいの頻度で実施することになっていますか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. 定期的実施している（該当するa～eの記号1つに○印をつけてください） → (3) へ
 - a. 毎月実施
 - b. 2カ月毎に実施
 - c. 3カ月毎に実施
 - d. 6カ月毎に実施
 - e. その他 () 毎月毎に実施)
2. 定期的実施していない → (2) へ

【5. 事故対応について】

- (1) 事業所内にはハンドル形電動車椅子の事故が起きた際に対応するマニュアル等がありますか？

該当する番号1つに○印をつけてください。

1. ある
2. ない

- (2) 事業所内で過去1年間（平成31年4月～令和2年3月）に発生したハンドル形電動車椅子の事故は何件ですか？件数を記入してください。

※「事故」とは、事故報告として保険者（市区町村）に報告したものとします。

事故件数	件
------	---

→0件の場合は【6. - (1)】へ

- (3) 事業所内で起きた事故に関し、ハンドル形電動車椅子の直近の事故の1ケースについて、事故内容（第一通報者、事故原因、対応方法等）を具体的にご記入ください。

<第一通報者>

<事故原因>

<対応内容等>

- (4) (3) で記載した事故に関し、その後も貸与を継続しましたか？

該当する番号1つに○印をつけて下さい。

1. 貸与を継続した → (5) へ
2. 貸与を中止した → 【6. - (1)】 へ
3. その他 ()

- (5) (4) で「1. 貸与を継続した」に○印をつけた方に伺います。

貸与を継続した理由や、利用継続にあたり指導した内容等を具体的にご記載ください。

<貸与を継続した理由>

<指導した内容>

2. 追跡アンケート調査票（認知症高齢者の日常生活自立度）

令和2年度老人保健健康増進等事業
ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る調査研究事業
追跡アンケート調査票

- ・令和3年3月5日（金）までに調査票でのご回答とご返送をお願い致します。
- ・令和2年10月に実施したアンケート調査の「Ⅱ. Ⅰ. 直近でハンドル形電動車椅子の貸与を行った実事例」に記載した利用者についてご回答ください。 ※同封のアンケート調査票をご確認ください

I. 貴事業所の基本情報

【1. 貴法人に関する情報について】

法人名：
事業所名：
所在地：
電話番号：
メールアドレス：

※アンケート調査に関してご連絡させていただくことがあります。

Ⅱ. 利用者の現状について

令和2年10月に実施したアンケート調査において「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡよりも自立度が低い（Ⅱa以下）貸与者の利用現状についてご回答ください。

【1. 利用者の現状について】

1	貸与の状況	貸与終了（貸与中止） ・ 貸与中 ※令和3年2月時点
2	貸与期間	年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月)
3	貸与開始時の自立度	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ
	「認知症高齢者の日常生活自立度」 「介護度」	自立・要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5
4	令和2年10月のアンケート時	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ
	「認知症高齢者の日常生活自立」 「介護度」	自立・要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5
5	現在（変化はありますか？）	自立・Ⅰ・Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ
	「認知症高齢者の日常生活自立」 「介護度」	自立・要支援1・要支援2・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5

6	貸与中の場合 ①貸与時の条件等、貸与実務面で気をつけていることなどがありましたらをお書きください。(貸与計画等、共有した内容) ②現在の貸与に関する課題はありますか？ ③使用の目的や利用頻度	①
		②
		③
7	貸与終了（貸与中止）の場合 その理由をお書きください。	
8	本件において、ヒヤリハットや事故はありましたか？ ○具体的内容をお書きください。	有 ・ 無
9	8で「有」の場合 ○その際の対応についてお書きください。	貸与継続 ・ 貸与中止

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

3. モデル講習会案内チラシ

講習会 主催：一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用講習会 ～ガイドライン・指導手順書の解説と演習～

ハンドル形電動車椅子は利便性の高い福祉用具であることから、近年使用者は増えつつありますが、一方で使用中の死亡・重傷事故が後を絶ちません。こうした状況を受け、当協会では今年度、厚生労働省の補助金を受けて、福祉用具事業者、福祉用具専門相談員向けのハンドル形電動車椅子の貸与可否判断を含む安全利用に係るガイドラインや指導手順書を作成しました。

本講習会では、福祉用具専門相談員の皆様を対象に、上記のガイドラインおよび指導手順書の内容を解説するとともに、実機を用いたロールプレイ方式による模擬演習も予定しています。ハンドル形電動車椅子の安全な貸与サービスにお役立ていただきたく、是非ともご参加ください。

参加費無料

日時	令和2年12月11日（金） 14：00～16：00（受付開始13：30）
場所	宮之城自動車学校（住所：鹿児島県薩摩郡さつま町吉1904）
対象	福祉用具貸与事業所に勤務する福祉用具専門相談員
定員	10名（先着順で定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます）
お申込み方法	①メール申込 （メールアドレス省略）に、タイトル名「ハンドル形電動車椅子講習会」を付し、本文に「お名前（フリガナ）、事業所名、電話番号、経験年数、ふくせん会員の有無」をご記名の上、メール送信ください。 ②FAX 受講申込書（2枚目）にご記入の上、FAXでお申込み下さい。

PROGRAM	13:30～14:00	受付		
	14:00～14:05	5分	開会 開会挨拶	
	14:05～14:15	10分	講義①	ハンドル形電動車椅子の事故状況について【講師】さつま監禁署
	14:15～14:55	40分	講義②	ハンドル形電動車椅子の安全利用に関するガイドライン・指導手順書の解説 【講師】藤田 佳男 氏 千葉国立保健医療大学 准教授
	14:55～15:05	10分	休憩	
	15:05～15:50	45分	ペアワーク	ハンドル形電動車椅子の貸与実務に関するロールプレイ
	15:50～16:00	10分	講評・質疑	講師からの講評、受講者からの感想・質疑応答
	16:00～		閉会	閉会挨拶

（注）上記プログラムは予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

お問合せ先 一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 担当：●●（氏名省略）
TEL:03-5418-7700 FAX:03-5418-2111（メールアドレス省略）

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 行

FAX ■講習会■
ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用講習会
～ガイドライン・指導手順書の解説と演習～

事務局長使用欄

<FAX専用>
受講申込書

貴事業所名		
お電話番号	— —	
お申込情報	お申込①	お申込②
フリガナ		
ご氏名		
福祉用具専門相談員 経験年数	年	年
ふくせん会員	会員・非会員	会員・非会員
※メールアドレス		

【※ご注意】お申込み受付後メールにて受付完了のご連絡をさせていただきます。メールアドレスを必ずご記入ください。
【個人情報のお取り扱いについて】
申込書に記載いただきましたお寄せの情報は、主催社のセミナーや商品・サービスに関するご案内に使用することがあります。

日時：令和2年12月11日（金）
14:00-16:00（13:30受付開始）

■講習会会場のご案内

<備考>

<事務局長使用欄>

4. モデル講習会運営要領

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用講習会・運営要領

於：宮之城自動車学校 （住所：鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 1904）

1. 当日プログラム

13:30 ～14:00	－	受付	－
14:00 ～14:05	5分	開会	開会挨拶
14:05 ～14:15	10分	講義①	ハンドル形電動車椅子の事故状況について 【講師】 さつま警察署
14:15 ～14:55	40分	講義②	ハンドル形電動車椅子の安全利用に関するガイドライン・ 指導手順書の解説 【講師】 藤田 佳男 氏 千葉県立保健医療大学 准教授
14:55 ～15:10	15分	ペアワーク 説明・準備	ペアワーク（ロールプレイ）に関する参加者への説明および 準備指示
15:10 ～15:15	5分	休憩	－
15:15 ～15:55	40分	ペアワーク	ハンドル形電動車椅子の貸与実務に関するロールプレイ
15:55 ～16:00	5分	講評・質疑	全体講評、受講者からの感想・質疑応答
16:00～		閉会	閉会挨拶、参加者アンケート記入

※12名参加

2. 当日の役割（敬称略）

- 藤田：講義②の講師
- 肥後：運営統括／司会進行
- インターリスク総研：運営サポート／ペアワーク進行

3. 必要な資料・資機材

（1）配布資料（スタッフ分・予備含め 20 部）

- ①プログラム
- ②参加者名簿（事務局用）
- ③レジュメ「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン」、
および「同指導手順書」（講義②用）
- ④上記に関する巻末資料（講義②およびペアワーク用）

- ⑤「電動車いす 安全利用の手引」(電動車いす安全普及協会)(ペアワーク用)
- ⑥「電動三輪車四輪車 使い方手引き」(公益財団法人テクノエイド協会)(ペアワーク用)
- ⑦ペアワーク実施要領
- ⑧参加者アンケート
- ⑨主催者挨拶原稿

(2) 資機材

- ①ハンドル形電動車椅子 6 台
- ②デジカメ、ボイスレコーダー、PC、プロジェクター、スクリーン、マイク、バインダー
- ③アルコール消毒液、検温器

4. 当日進行要領

スケジュール	対応事項	備考
設営 12:00~ ~13:30	<ul style="list-style-type: none"> ・受付準備 ・会場資機材準備 (PC 等投影準備、机等配置、照明確認、音響確認) ・実地コース準備 ・電動車椅子配置 ・資料設置 	現地にてペアワーク使用コースを検討
受付 13:30~	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の受付・誘導 ・関係者の受付・誘導 	外部関係者：さつま警察署・大木課長
開会 14:00~	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・主催者挨拶 	主催者挨拶
講演中 14:05 ~14:55	<ul style="list-style-type: none"> ・録音開始 ・照明・音響・空調確認 ・写真撮影 ・途中来場・退場者対応 	
ペアワーク 説明・準備 14:55 ~15:10	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク進行要領説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行要領説明 (5 分) ・模擬指導に備えた資料の予習 (10 分)
(休憩) 15:10 ~15:15	(再開時間と再開時の集合場所の説明)	
ペアワーク 15:15 ~15:55	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者誘導 ・ペアワーク補助 ・写真撮影 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 人 1 組で 6 ペア ・各ペアに主催側スタッフ 1 名が同伴
講評・質疑 15:55 ~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講評 ・質疑対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体講評 (藤田)、質疑対応
閉会 16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 ・閉会 	主催者挨拶
終了後	アンケート回収・撤収	

5. ペアワークの進行要領

(1) 参加者 2 人 1 組でペアになってもらう

(2) 以下のように、ペアごとに模擬指導のシーンを割り振り、1 人が「福祉用具専門相談員役」、1 人が「利用者役」となり、途中で役割を交代して実施する。

模擬指導シーン		担当班	役割	
大項目	小項目		相談員役	利用者役
基本事項の説明	—	1 班	●●様	●●様
試乗（その 1） 基本的な操作指導	乗降・運転前確認		●●様	●●様
	操作指導①静止状態での指導	2 班	●●様	●●様
操作指導②走行状態での指導	●●様		●●様	
試乗（その 2） 路上での実践指導	（1）主な禁止事項・注意事項の説明	3 班	●●様⇒●●様	●●様⇒●●様
	（2）自宅付近での操作指導	4 班	●●様⇒●●様	●●様⇒●●様
	（3）実使用ルートでの指導	5 班	●●様⇒●●様	●●様⇒●●様
	（4）事故・故障時に備えた指導	6 班	●●様⇒●●様	●●様⇒●●様

(3) ペアワークの開始前に、実際に指導・評価を行ってもらうための、準備（予習）の時間を設ける。
（模擬指導で用いるチェックリストや、電安協もしくはテクノエイドの冊子を確認してもらう）

(4) 運営スタッフが 1 班に 1 人同伴し、模擬指導をサポートするとともに、「スムーズにできている点」、「スムーズにできていない点」をチェックする。

(5) 時間配分・・・休憩込みで 60 分（ペアワークが早く終わればアンケート記入にあてる）。

①ペアワーク方法の説明【5 分】

②参加者の準備（予習）【10 分】

（休憩 5 分をはさんで）

②ペアワーク（前半）【20 分】

③ペアワーク（後半）【20 分】

以上

5. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例	判断に当たっての留意事項
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。		在宅生活が基本であり、一人暮らしも可能である。 相談、指導等を実施することにより、症状の改善や進行の阻止を図る。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。		在宅生活が基本であるが、一人暮らしは困難な場合もあるので、日中の居宅サービスを利用することにより、在宅生活の支援と症状の改善及び進行の阻止を図る。
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理等それまでにできたことにミスが目立つ等	
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。		日常生活に支障を来すような症状・行為や意思疎通の困難さがランクIIより重度となり、介護が必要となる状態である。 「ときどき」とはどれくらいの頻度を指すかについては、症状・行動の種類等により異なるので一概には決められないが、一時も目を離せない状態ではない。
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	在宅生活が基本であるが、一人暮らしは困難であるので、夜間の利用も含めた居宅サービスを利用し、これらのサービスを組み合わせることによる在宅での対応を図る。
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ	
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ	常に目を離すことができない状態である。 症状・行動はランクIIIと同じであるが、頻度の違いにより区分される。 家族の介護力等の在宅基盤の強弱により居宅サービスを利用しながら在宅サービスを続けるか、または特別養護老人ホーム・老人保健施設等の施設サービスを利用するかを選択する。 施設サービスを選択する場合には、施設の特徴を踏まえた選択を行う。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する周辺症状が継続する状態等	ランクI～IVと判定されていた高齢者が、精神病院や認知症専門病棟を有する老人保健施設等での治療が必要となったり、重篤な身体疾患が見られ老人病院等での治療が必要となった状態である。専門医療機関を受診するよう勧める必要がある。

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について（平成18年4月3日老発第0403003号）

厚生省老人保健福祉局長通知

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

ハンドル形電動車椅子の安全利用に係る調査研究事業

報告書

令和3年3月発行

発行者 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
〒180-0073 東京都港区三田 2-14-7 ロール三田 404号室
TEL : 03-5418-7700 FAX : 03-5418-2111

【事務局支援】MS & ADインターリスク総研株式会社

本事業は、令和2年度老人保健事業推進費等補助金の助成を受けて行ったものです。

[福祉用具専門相談員向け]

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における 安全利用のためのガイドライン

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和 3 年 3 月

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

はじめに

ハンドル形電動車椅子は、歩行に困難を感じる高齢者にとっての移動手段や、自動車運転免許を返納した高齢者の代替移動手段として、近年広く普及しつつあります。

一方、ハンドル形電動車椅子の利用中の事故も少なからず発生しています。消費者庁の資料やデータをもとに一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会が調査したところ、ハンドル形電動車椅子を利用中の死亡・重傷事故は、平成 20 年から令和 2 年までに 66 件発生しています。

ハンドル形電動車椅子は免許の取得が不要で、近距離の移動で便利な反面、高齢者の利用が多く、早歩き程度の速度で動くことや、歩道や施設内も走行できることなどから、自動車との衝突事故や利用中の転倒・転落などに加え、他の歩行者にぶつかってケガをさせるなど、様々なリスクが存在します。このため、ハンドル形電動車椅子の貸与に携わる福祉用具専門相談員にとって、利用者が安全に利用できるかどうかの評価が、事故防止のために極めて重要となります。

こうしたことを踏まえ、このたび当協会では、福祉用具専門相談員の皆様を対象とした「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン」を作成しました。本冊子では、実際のハンドル形電動車椅子の貸与実務において、利用者が安全に利用できるかどうかを福祉用具専門相談員が見極める際の考え方や評価項目をガイドラインとして示しました。また別冊子として、ハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうために、福祉用具専門相談員が利用者に対して行うべき指導の内容・手順をとりまとめた「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を作成しています。

福祉用具専門相談員の皆様が本冊子を活用し、利用者に対する適切な評価を通じて、ハンドル形電動車椅子の安全利用の更なる促進につながれば幸いです。

本冊子は、各種の電動車椅子の中でも、最も普及台数の多い「ハンドル形電動車椅子」に関する内容となっています。また介護保険による貸与のケースを対象としています。

目次

第1章 全般	1
1. ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク	1
2. 本冊子の活用方法	2
3. 参考資料（本冊子と併せて使用する冊子など）	2
第2章 安全利用のためのガイドライン	3
本章の全体像	3
1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価	4
(1) 貸与依頼時における情報収集と課題の整理	4
(2) 面接（インテーク）	6
(3) 操作指導	7
(4) 福祉用具サービス計画書の作成（5）サービス担当者会議（6）契約（貸与開始）	12
(7) モニタリング・メンテナンス	13
2. 貸与中止対応のポイント	15
3. 事故対応のポイント	16
4. まとめ	18
巻末資料	19

第1章 全般

1. ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク

ハンドル形電動車椅子は免許が不要で、近距離の買い物や通院等に便利であり、介護保険制度の車椅子貸与サービスとしての利用も可能なことから、近年利用者は増えつつあります。

一方でハンドル形電動車椅子の特性に起因する利用上のリスクも少なからず存在します。主な利用上のリスクは以下の通りであり、適切なアセスメントと操作指導、さらに利用開始後の定期的なモニタリングが重要となる福祉用具の1つであるといえます。

[ハンドル形電動車椅子の特性と利用上のリスク]

特性	利用上のリスク
早歩き程度のスピードで走行する	道路や踏切横断時の事故（横断に時間がかかる）
重量がある	緊急時（踏切脱輪時など）の自力退避が困難
高齢者の利用が多い	操作ミスや注意力・判断力の低下による事故
電動で動く	バッテリー切れによる走行停止
歩道や施設内を走行できる	他の歩行者や自転車、建物・設備への衝突
座った姿勢で外出ができる	高さが低く自動車から見落とされやすい
三・四輪で走行・旋回する	左右の段差、側溝、内輪差による脱輪・転倒
車幅がある	車幅感覚のズレによる他者・他物との接触

[主な事故事例]



また、ハンドル形電動車椅子は、利用者の心身機能や利用環境が一人ひとりで異なるため、利用上のリスクもそれぞれ異なります。このため貸与に当たっては、利用上のリスクを適切に評価するとともに、評価結果を利用者への指導に反映させることが重要になります。

2. 本冊子の活用方法

本冊子は、ハンドル形電動車椅子を利用者の方に安全に利用してもらうために、「ハンドル形電動車椅子の貸与可否を見極め、福祉用具専門相談員としての所見を適切に伝えるためのガイドライン（基本となる考え方や評価項目）」について、ハンドル形電動車椅子の貸与実務のフローに沿った形で、ポイントを押さえた解説を行っています。

現場におけるハンドル形電動車椅子の貸与実務において、福祉用具専門相談員の皆様が本冊子を参照しながら、貸与にあたっての安全性の評価を行っていただくことに加え、事業所内における勉強会の資料としても活用いただけます。

また巻末資料では、評価項目や指導項目を一覧化したチェックシートや、本冊子で紹介している各種の書式例をとりまとめています。貸与実務において、必要に応じ福祉用具サービス計画書の添付資料としても活用して下さい。

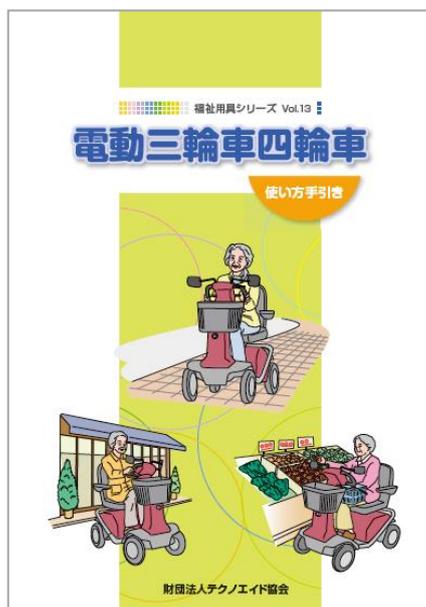
なお、別冊子として「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を作成しています。こちらの冊子では、ハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうために、福祉用具専門相談員が利用者に対して行うべき指導の内容・手順をとりまとめています。安全利用のための指導実務については、こちらの冊子を活用してください。

3. 参考冊子（本冊子と併せて使用する冊子など）

本冊子は、福祉用具専門相談員の皆様が行う、ハンドル形電動車椅子の貸与可否の評価に的を絞った内容としています。利用者に対する実際の評価にあたっては、併せて以下の冊子類を併用するようにしてください。

[参考冊子（出典）]

- ・「電動車いす 安全利用の手引」（電動車いす安全普及協会）
https://www.den-ankyo.org/guidance/img/tebiki_all.pdf
- ・「電動三輪車四輪車 使い方手引き」（公益財団法人テクノエイド協会）
<http://www.techno-aids.or.jp/research/vol13.pdf>

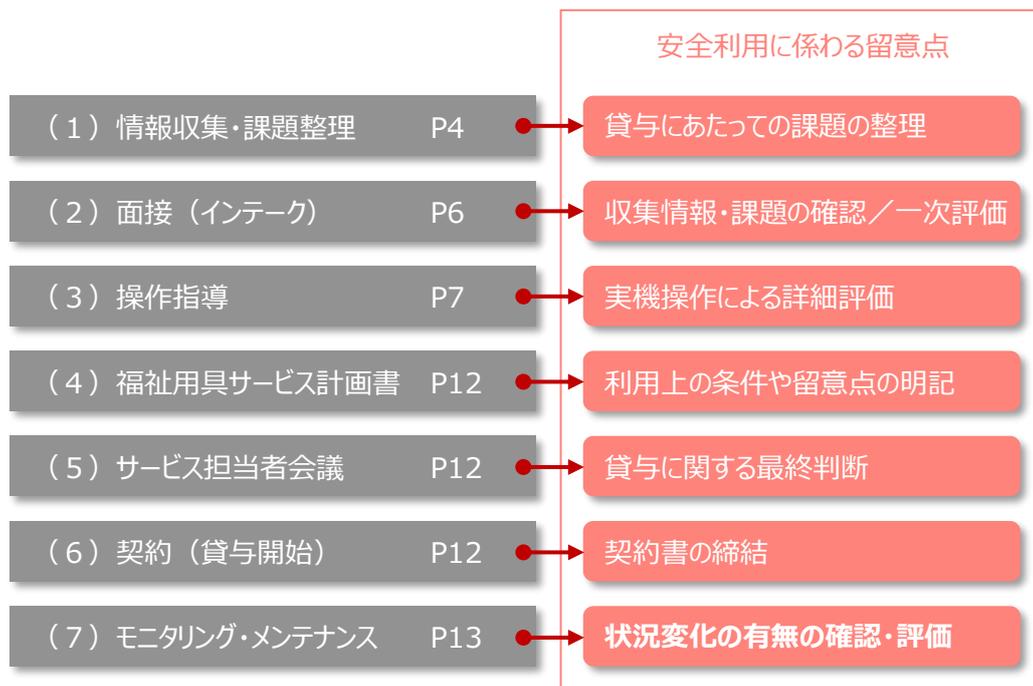


第2章 安全利用のためのガイドライン

本章の全体像

本章では、利用者がハンドル形電動車椅子を安全に利用できるかどうかを検討するに際しての、基本的な考え方や評価項目について、貸与実務のプロセスに沿って解説します。

1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価【P4】



2. 貸与中止対応のポイント【P15】

3. 事故対応のポイント【P16】

1. 貸与プロセスにおける安全利用の確認・評価

(1) 貸与依頼時における情報収集と課題の整理

- ハンドル形電動車椅子の貸与について照会や依頼があった場合は、担当のケアマネジャーから利用者に関する基本情報を収集します。
- ケアマネジャーから収集した基本情報を確認し、貸与にあたっての課題を整理します。
- 安全利用に関する情報については、できるだけ詳細に確認し、必要に応じて追加収集を行います。

ハンドル形電動車椅子の貸与について照会や依頼があった場合、まずは利用者に関する基本情報を、担当のケアマネジャーから収集します。

その後、入手した利用者に関する基本情報を精査するとともに、利用目的等に関する個別情報を聴取し、利用者の人物像をイメージした上で、ハンドル形電動車椅子の利用検討に必要な情報を整理・集約します。

その上で、ハンドル形電動車椅子の利用にあたっての課題の有無を検討し、この後の面接や操作指導で重点的に確認するようにします。

[ハンドル形電動車椅子・課題整理表 (例)]

項目	内容	課題 (要確認事項など)
利用目的・背景		
本人・家族の思い		
医療情報		
心身機能		
生活動作能力		
環境情報		
家族・介護者情報		
介護保険サービスの利用可否		

安全利用の Point

とりわけ「心身機能」、「生活動作能力」、「医療情報 (特に認知能力)」、「環境情報 (特に居住環境)」は安全利用に関する重要な情報といえます。情報が不足している場合は、ケアマネジャーに対し積極的に照会を行うようにします。そのためにも、平素からケアマネジャーとの良好な関係作りを行っておくことが大切となります。

留意すべき疾患について

ハンドル型電動車いすは歩行者扱いのため、法的な利用制限はありませんが、利用上の特性については、自動車の運転と共通する部分があります。このため、利用者が「認知・予測・判断・操作」を適切に行うことができるかどうか重要なポイントとなります。

自動車等の運転免許では、「運転に支障をおよぼすおそれのある一定の病気等」として、いくつかの具体的疾患名が挙げられており、免許取得や更新の際に症状や障害の程度について診断書等で確認することとしています。以下では、運転免許の場合における留意すべき疾患や問題となる症状を例示しますので、参考にして下さい。

[参考：自動車等の運転免許に関する留意すべき主な疾患]

疾患名	安全利用に支障のある症状
アルコールの中毒者およびアルコール依存症	中毒症の診断であれば原則として適性はない。依存症の場合は慎重に判断する
認知症、軽度認知機能障害	認知症の診断であれば原則として適性はない。軽度認知機能障害の場合は慎重に判断する
脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作等）、頭部外傷後遺症、脳動脈瘤破裂、脳腫瘍等	見当識障害、記憶障害、判断障害、注意障害、半側空間無視、半盲、運動機能障害（麻痺や失調等）があり、安全利用に影響がある場合
重度の眠気症状を呈する睡眠障害（睡眠時無呼吸症候群、ナルコレプシー等の過眠症）	重度の眠気により、安全利用に影響がある場合
再発性の失神（反射性（神経調節性）不整脈、起立性低血圧、糖尿病等による無自覚性低血糖、埋込型除細動器を埋め込んでいる場合等）	意識消失発作がある場合
症候性てんかん（脳卒中、頭部外傷、髄膜炎、脳炎などによる）、特発性てんかん（原因不明のもの）	意識消失や運動障害などの発作がある場合、または発作がなくても服薬指導を守れない、服薬により安全利用に影響がある場合
統合失調症や持続性妄想性障害等の精神障害	幻覚の存在や他者が理解不能な確信があり、安全利用に影響がある場合
そううつ病	注意力の低下やその他の影響で安全利用に影響がある場合
白内障、緑内障、網膜色素変性症などの眼疾患	白内障では著しい視力低下、緑内障および網膜色素変性症では、明確な視野障害があり、安全利用に影響がある場合
パーキンソン病	巧緻動作等運動機能の低下、注意力等認知機能の低下、突発性睡眠、服薬による症状の変化等で安全利用に影響がある場合

※警察庁通達「一定の病気等に係る運転免許関係事務に関する運用上の留意事項について」を参考に作成

(2) 面接（インタビュー）

- 利用者との面接で、「(1) 貸与依頼時における情報集約と課題の整理」で得た情報と照合します。
- 安全な利用を明らかに阻害する要因が確認できた場合は、この段階で利用が困難な旨を伝えます。

「(1) 貸与依頼時における情報集約と課題の整理」で得た情報をもとに、実際に利用者本人にお会いして、これまでに得た情報と照らし合わせ、必要に応じて更新します。なお、面接の際は、ケアマネジャーや家族などの関係者にも同席してもらうようにします。

面接においては、身体機能、認知機能、利用環境などの確認を行い、この後の操作指導に進めてよいかを判断しますが、この段階で安全な利用を明らかに阻害する要因が確認できた場合は、利用が困難な旨を伝えます。利用の見送りを検討すべき主な状況としては以下のケースが挙げられます。

[面接での主な確認事項と利用の見送りを検討すべき主な状況]

分類	主な確認事項	利用の見送りを検討すべき主な状況
身体機能	<input type="checkbox"/> 上肢機能（手指の巧緻性を含む）の状況	握力の低下 や震え、 巧緻動作の低下 等でハンドルやアクセルレバー等の操作をスムーズに行えない。
	<input type="checkbox"/> 下肢機能の状況 （歩行能力、移乗能力など）	下肢筋力の低下 や麻痺による立位、歩行バランスの低下により、歩行や移乗が著しく困難である。
	<input type="checkbox"/> 体幹機能の状況 <input type="checkbox"/> 麻痺の有無や切断・欠損などの身体状況	体幹の機能に障害があり 着座姿勢が安定しない 。四肢に欠損や麻痺があり、補助具や代替手段を用いても適切に操作が出来ない。
	<input type="checkbox"/> 見えにくさ	視力の著しい低下 等により、道路標識等の認識に困難がある。視野が狭く、脱輪、転落等を引き起こす可能性が高い。
	<input type="checkbox"/> 聞こえにくさ	補聴器等を用いても、10mの距離で踏切の警報音や救急車のサイレン等が聞こえない。
認知機能	<input type="checkbox"/> 注意力、記憶力、意思疎通のスムーズさ、など	ゼスチャーや図示などの補助手段を用いても意思疎通に問題がある。会話が成立しない。 基本操作や安全利用のための手順などが習得されない 。運転に必要な注意力に欠ける、または一定時間維持できない。 記憶力の低下があり注意事項を守れない 。
利用環境	<input type="checkbox"/> 主な利用目的地、利用ルート、利用時間帯における安全性	急坂や踏切の利用が不可欠である（迂回路がない）、夜間利用が不可欠である等で、安全に通行できることが見込めない。
	<input type="checkbox"/> 保管・乗降スペース、充電の可否	保管・乗降のスペースがない。保管場所に充電設備がない。
	<input type="checkbox"/> 自宅前道路における安全性	保管場所から道路に出る際の安全性に重大な問題がある。
その他	<input type="checkbox"/> 運転態度 <input type="checkbox"/> 日ごろの行動癖など	安全利用のための指示に従おうとしない（ 飲酒運転、交通法規の不遵守、道路の斜め横断、使用条件の不遵守、注意事項の不遵守 ）。適切でない飲酒習慣や薬剤・薬物の乱用がある。

※太字は、当協会による調査で明らかになった、実際の貸与中止（もしくは見送り）事例です。

※上記の「利用の見送りを検討すべき状況」は、必ずしも利用自体を否定するものでなく、安全に利用できる方策があれば、次のステップに進めて構いません。

安全利用の Point

身体機能や認知機能について判断がつかない場合は、かかりつけ医の助言を仰ぐようにします。

(3) 操作指導

- 操作指導は、「基本事項の説明」、「基本的な操作指導」、「路上での実践指導」に分けられます。
- 実際の操作を理解・習得してもらうと同時に、安全に利用できるかを確認します。
- 評価を適切に行うため、事前に準備を行い、指導当日は時間を十分にとるようにします。
- 明らかな不安要素がみられる場合は、利用が困難な旨の相談員としての所見を伝えます。

「(2) 面接（インテーク）」までの段階で特段の支障がないと判断できた場合は、実際に実機を使った操作指導を行います。安全に利用できるかどうかは、実際に乗ってもらわないとわからないことが多いため、ここでのチェック・評価が安全利用を左右すると言っても過言ではありません。このため、事前に入念な準備を行い、当日は十分に時間をとるとともに、ケアマネジャーや家族などの関係者にも同席してもらうようにします。

操作指導における主な評価項目は以下の通りです（指導内容の詳細については別冊子を参照）。踏切や勾配のきつい急坂（傾斜角度 10 度以上：登降坂性能に関する警告機能の付いた機種の場合アラームを発する角度）が存在する場合は、指導員自身が必ず現場を確認します。メインとなるのは「路上での実践指導」ですが、その前後のプロセスも含め、操作指導全般にわたって注意深くチェックすることが求められます。一連のチェックが完了したら、総合評価を行います。

[操作指導時における評価項目]

①基本事項の説明

巻末資料 1 参照

分類	指導内容	評価項目
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度 6km/h）	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	

②試乗（その1）基本的な操作指導

分類	指導内容	評価項目
乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <運転前確認事項>	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）>	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）>	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか

分類	指導内容	評価項目
(1) 主な禁止事項・注意事項の説明	<主な禁止事項> <主な注意事項>	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか
(2) 自宅付近での操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか
(3) 実使用ルートでの指導	<操作面の指導> <安全面での指導> <環境面>	<全般> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか <安全面> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか <環境面> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か
(4) 事故・故障時に備えた指導	<考え方> <非常時の操作>	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか
その他気づき事項		

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点：) <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由：) <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---

安全利用の Point

- 踏切や勾配のきつい急坂が存在する場合は、必ず現地を確認します。
- 複数回指導を行っても、以下の点で改善が見られない場合は、利用が困難な旨の所見を利用者又はご家族へ伝えます。その際は、利用困難であることを理解してもらうために、理由も含め、丁寧な説明を行って下さい。
 - 繰り返し説明しても内容を理解できない
 - 指導内容を軽視する言動がみられる
 - 操作や判断で明らかな不安要素がみられる

踏切への対応

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の調査によれば、踏切で発生した電動車椅子利用中の死亡事故は、2009年度～2018年度までの10年間で合計11件（うちハンドル形が10件）発生しています。これを使用期間別でみた場合、使用期間1年未満の事故が6件で、死亡事故全体の過半を占めています。

踏切には、「警報機+遮断機付」の踏切だけでなく、「警報機だけ」のものや「警報機や遮断機もない」踏切もあります。

さらに、踏切によっては路肩の段差が大きいものや、道幅が狭いもの、交通量が多くわたりにくいもの、踏切の距離が長いものなど様々なものがあります。

ハンドル形電動車椅子を踏切で利用する際のリスクには以下のようなものがあり、単独での利用には大きな危険が伴います。

このため利用者に対しては、原則として踏切は利用しない（必ずう回路を利用する）こと、また、やむなく踏切を利用する場合は、介助者に同伴してもらうことの指導を、利用開始時に徹底することが大切となります。

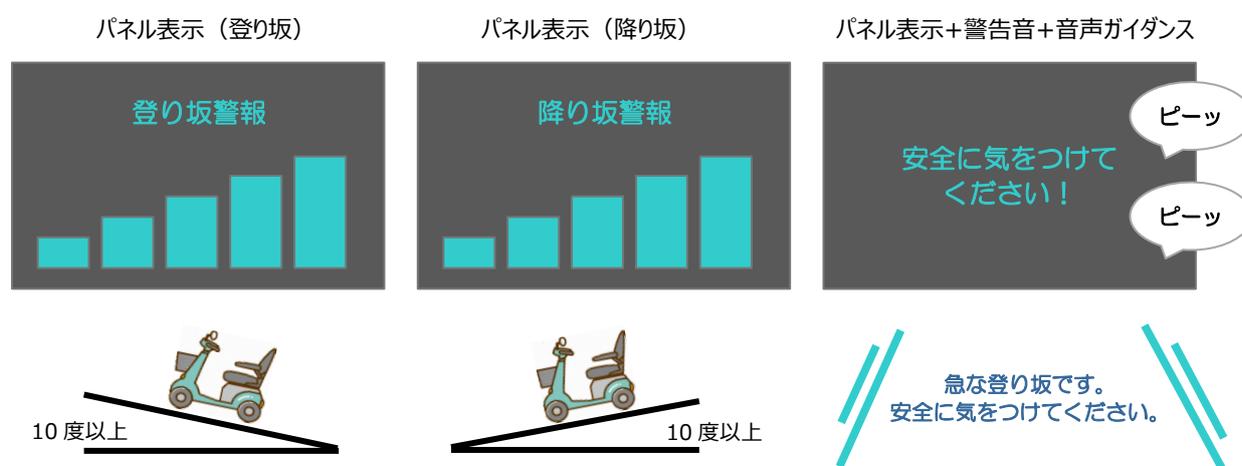
[ハンドル形電動車椅子の踏切利用のリスク]

危険事象		リスク
踏切道を時間内に渡れない	列車の運行本数が多く、渡る時間が短時間しか確保できない	踏切の遮断までに踏切を渡り切れず、踏切内に取り残される可能性
	踏切の長さが長いため、短時間で渡ることができない	
	踏切内の人・車の通行量が多く、スムーズに走れない	
踏切道から出られない	踏切の道幅が狭く、脱輪しやすい	踏切内で脱輪し、走行不能となる可能性
	踏切道内の段差や、レールと路面との隙間に車輪がはまる	車輪がはまり、走行不能となる可能性
その他	警報機のない踏切で、列車の接近に気づかない 警報機の音に気付かず踏切内に進入する	走行中の列車との衝突の可能性
	踏切を待っている間に意識不明となり、アクセル操作をしたまま踏切内に進入	

急坂への対応

勾配のきつい急坂は、下り坂での意図しない急加速による衝突や、急ハンドルを切った際の転倒など、重篤な事故が起きやすい危険な場所の1つです。ハンドル形電動車椅子については、登降坂性能に関する警告機能（傾斜角度 10 度以上（勾配 17.6%以上）の場所で使用するとアラームを発する機能）が装備されているものがありますので、利用ルートで坂道がある場合は、こうした警告機能付きの機種を選択するようにしましょう。

傾斜警告装置の例（イメージ）



なお、スマートフォンを使って傾斜角度の測定ができる各種のアプリケーションがあるほか、ホームセンター等でも傾斜角度を測定するための傾斜計を扱っています。自身にとって使いやすいものを選択し、活用するとよいでしょう。

傾斜計

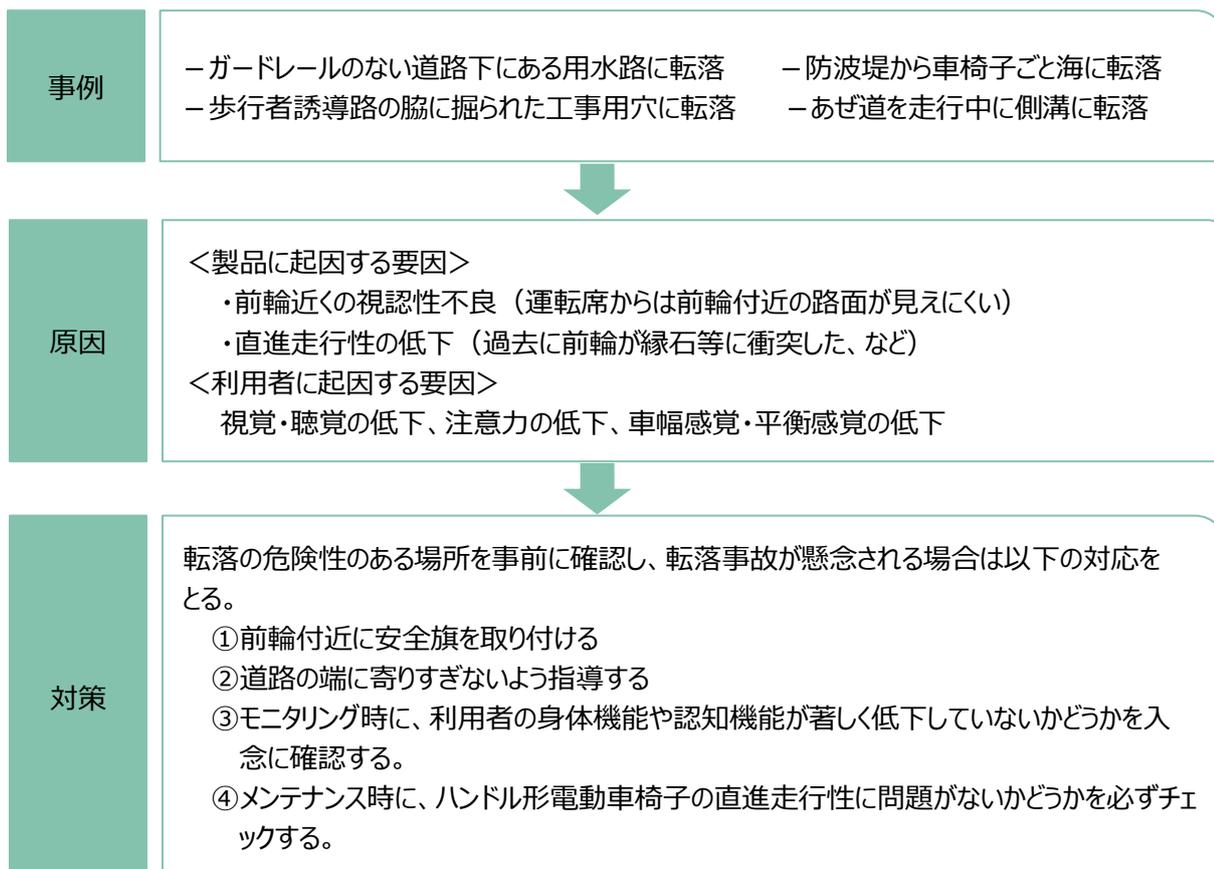
検索

※クラッチを切った状態で坂道を通ると、ハンドル形電動車椅子の電磁ブレーキ機能がオフとなり、急加速を起こすため大変危険です。このため、クラッチ操作の説明を行う際は、非常時以外には絶対に操作を行なわないよう、必ず指導してください。

転落リスクへの対応

川や用水路が並行している道、土手や側溝がある道、路肩が傾斜している道などでは、ガードレールがない場合、車輪が道から逸脱すると、そのまま車体ごと転落するリスクがあります。こうした転落事故では、川や用水路で溺れる、頭部を地面に強打するなどのほか、乗っていた車椅子が利用者を上から直撃するケースもあり、死亡事故や重傷事故につながりやすいといえます。

転落事故の事例や原因と、これらを踏まえた対策を以下に示します。踏切や急坂と同様に、使用ルートで転落事故の危険性がないかどうかについても事前に確認し、転落リスクが懸念される場合はこれに応じた対策や指導を行うことが求められます。



(4) 福祉用具サービス計画書の作成 (5) サービス担当者会議 (6) 契約 (貸与開始)

- 利用上の条件を付す場合は、福祉用具サービス計画書の「留意事項」欄に明記します。
- 福祉用具サービス計画書に操作指導の際に確認したチェックリストを添付することで、その後の使用評価や事故発生時に対応できる記録となります。
- 事故発生時の対応についても、事前に説明します。
- 他のサービス提供事業者には、利用上の留意事項を共有します。

「(3) 操作指導」の結果、ハンドル形電動車椅子の利用が可能と判断した場合は、福祉用具サービス計画書を作成し、サービス担当者会議での確認を経て、契約書を交わします。その際、利用上の課題や留意点があった場合は、福祉用具サービス計画書の「留意事項欄」に記入するようにします（記入例は下記参照）。なお、操作指導の際に確認したチェックリストを福祉用具サービス計画書に添付することで、その後の使用評価や事故発生時に対応できる記録となります。事故発生時の対応についても、予め必ず説明するようにしてください。

加えて、訪問介護事業所など他のサービス提供事業者には、ハンドル形電動車椅子の利用上の留意事項を共有の上、日常生活における利用状況を確認してもらうようにすると良いでしょう。

[福祉用具サービス計画書の「留意事項欄」記入例]

- 指導内容を守り、交通ルールに従って、安全に利用してください。
- 以下のような状況での使用は避けてください。
 - 単独での踏切横断
 - 急坂での使用
 - 飲酒状態での使用
 - 単独での夜間使用
 - 幹線道路における車道での走行
 - 道路の斜め横断走行
 - 運転中の携帯電話の使用
- 新たなルートを初めて走行する際は、危険箇所を慎重に判断するとともに、介助者に同行してもらうなどの安全対策を十分に講じてください。
- 不具合が発生した場合は使用を控え、直ちに弊社の担当者あてにご連絡をお願いします。
- 使用中に事故に遭った場合は、直ちに弊社の担当者あてにご連絡をお願いします。

安全利用の Point

- ① より安全に使用してもらうためには、主な利用ルートや危険箇所（交差点、踏切、急坂など）を示した地図を利用者に渡して注意を促すようにすると、さらに効果的です。
- ② 当協会の調査では、交通法規に従わないことに起因する事故が多くみられます。交通法規を正しく守って利用することを、繰り返し念押しするようにしてください。
- ③ 当協会の調査では、貸与の開始から間もない時期に事故が発生しやすい傾向がみられています。このため、貸与開始から3ヶ月程度の期間は、利用者が安全に利用できているかどうかについて注意を払い、利用状況を確認する機会を設けるようにしてください。

(7) モニタリング・メンテナンス

- 使用者の心身機能や使用環境等の変化を見逃さないようにします。
- モニタリングやメンテナンスでの評価結果によっては、貸与の中止を検討します。

貸与後のモニタリングやメンテナンスは、利用者が実際に安全に利用できているかどうかを確認するための非常に重要なプロセスになります。特に重視して確認・評価すべき点は以下の通りです。

- ✓ 使用者の変化（身体機能や認知機能等）による安全性への影響
- ✓ 使用環境の変化（ルートや目的地の変更、自動車通行量の変化、工事個所の発生等）による安全性への影響
- ✓ 使用機器の状態（製品の破損、走行・停止・旋回・計器表示等の機能不備等）による安全性への影響
- ✓ 貸与開始時における利用条件の遵守状況

その上で、後述の「2. 貸与中止対応のポイント」(P15) に該当する状況が明らかになった場合は、貸与の中止について検討を行います。

上記を踏まえたモニタリング時およびメンテナンス時における、安全利用面での確認・点検項目の例を以下に示します。

[モニタリング時の確認項目]

巻末資料 1 参照

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観等で目立つキズはないか ■ 走行機能は正常か 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用目的に照らし、適切な距離か 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか ■ 交通法規を遵守しているか ■ 契約時の確認事項を遵守しているか ■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか ■ 契約時に想定していた使用ルートで危険個所が新たに生じていないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	

[メンテナンス時における点検項目]

番号	主な点検項目	チェックポイント
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか
2	ハンドル	操作時にゆりみやがたつきがないか、まっすぐ進むか
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか
5	表示パネル	正常に表示されるか
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か
10	アクセルレバー	利きが正常か
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか
16	反射板	損傷がないか
17	クラッチハンドル	正常に作動するか
18	シートの回転レバー	正常に作動するか
19	オイルの状況	オイル漏れがないか
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか

※点検項目は機種によっても変わります。実際の点検に際しては、対象機種の取扱説明書の記載内容に沿って実施してください。

安全利用の Point

- ① 貸与開始以降の使用者の心身の変化や、使用環境の変化を逐次観察することは困難です。このため、自ら利用者・家族・ケアマネジャーに連絡をとったり、充電を兼ねて事業所に立ち寄ってもらうよう利用者に促すなど、定期的な訪問以外にも、利用状況に関する情報の収集に努めることが望まれます。
- ② 利用継続の可否を判断する際は、家族やケアマネジャーなどの関係者との協議が必要となります。このため、モニタリングやメンテナンスの際は、利用者本人だけでなく家族やケアマネジャーなどの関係者の意見も必ず聞くとともに、実施結果については、利用者本人に加え関係者に対してもフィードバックを行うことが求められます。
- ③ モニタリング時の認知機能チェックについては、貸与開始前に比べ、確認する割合が低下することが当協会の調査で明らかになっています。認知機能の低下は時間の経過とともに進むことから、**貸与開始前と同等以上の注意をモニタリング時にも払うことが必要です。**

2. 貸与中止対応のポイント

- 貸与期間中に、安全利用に支障を及ぼす状況変化を認識した場合は、貸与の中止を検討します。
- 貸与を中止すべきと判断した場合は、理由を丁寧に説明した上で、相談員としての所見をサービス担当者会議等を通じて伝えます。

貸与期間中、利用者本人、家族・ケアマネジャー等の関係者からの相談、モニタリング・メンテナンス、事故の発生、などを通じて以下のような状況を認識した場合は、貸与の中止について検討を行います。

[貸与中止を検討すべき主なケース]

項目	主なケース
身体機能の低下	視力・聴力の低下、筋力の低下、操作速度や反応速度の低下、立位安定性の低下など
認知機能の低下	注意力・記憶力の低下の疑い、説明内容の理解困難のおそれ、指導内容の不遵守のおそれ、など
利用環境の変化	使用ルートでの危険の増加（車の通行量の増加、大規模工事の開始、など）
貸与条件の不遵守	単独での踏切横断、急坂での使用、飲酒運転、道路の斜め横断、単独での夜間使用、交通法規の不遵守、指導内容の軽視、運転中の携帯電話の使用、など
事故・ヒヤリハットの発生	対人・対物事故やケガを伴う自損事故（もしくはこれらのヒヤリハット事例）、車体のキズの急増、など

上記検討の結果、安全性の観点から貸与を中止すべきと判断した場合は、理由を丁寧に説明した上で、相談員としての所見をサービス担当者会議等を通じて伝えます。その際は、一方的な貸与中止ではなく、可能な範囲内で代替手段についても併せて提案を行うようにします。

貸与を中止するかどうかの最終的な判断はケアマネジメントの協議を経て決定します。その際、自身の所見や関係者の意見については、サービス担当者会議録等に残しておくようにします。

安全利用の Point

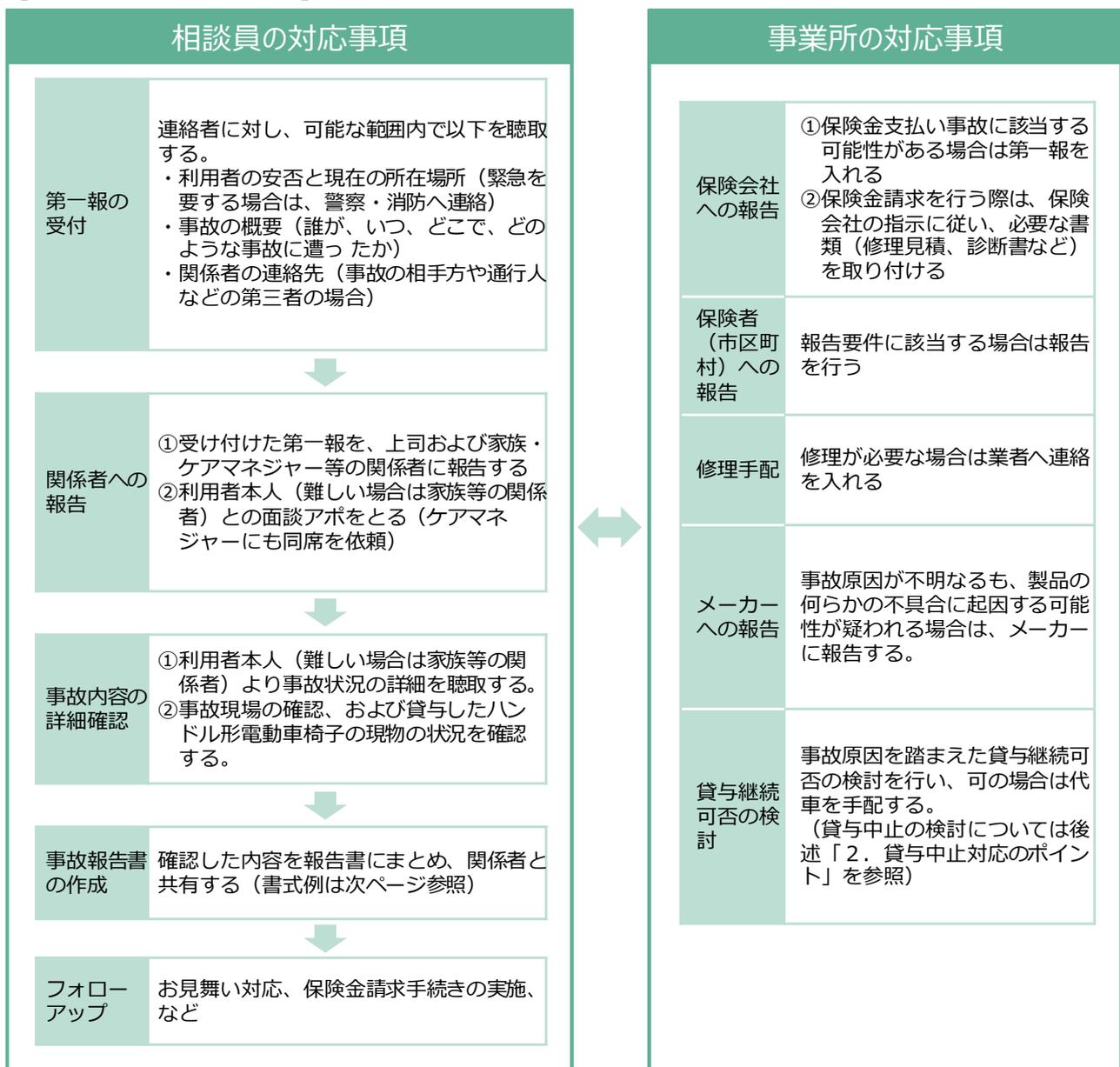
「重大な事故につながる恐れがあるかどうか」が検討の際の大切な視点となります。安全利用に懸念があり、貸与を中止すべきかどうかで自身の判断が迷った場合であっても、自身の考えを積極的に関係者に伝えるようにしましょう。

3. 事故対応のポイント

- 事故の発生に備え、事故対応のフローや事故報告書のフォーマットなどを予め作成しておきます。
- 事故発生時は可能な限り正確かつ詳細な情報の収集に努めるようにします。

貸与期間中に万が一利用者が事故に遭遇した場合における、一般的な対応フローは以下の通りとなります。有事の際に迅速かつ適切な対応をとることができるよう、事故への対応方法をマニュアル化するとともに、事故受付フォーマットや事故報告フォーマットなどの各種の書式についても整備しておくことが求められます。

[事故発生時の対応フロー]



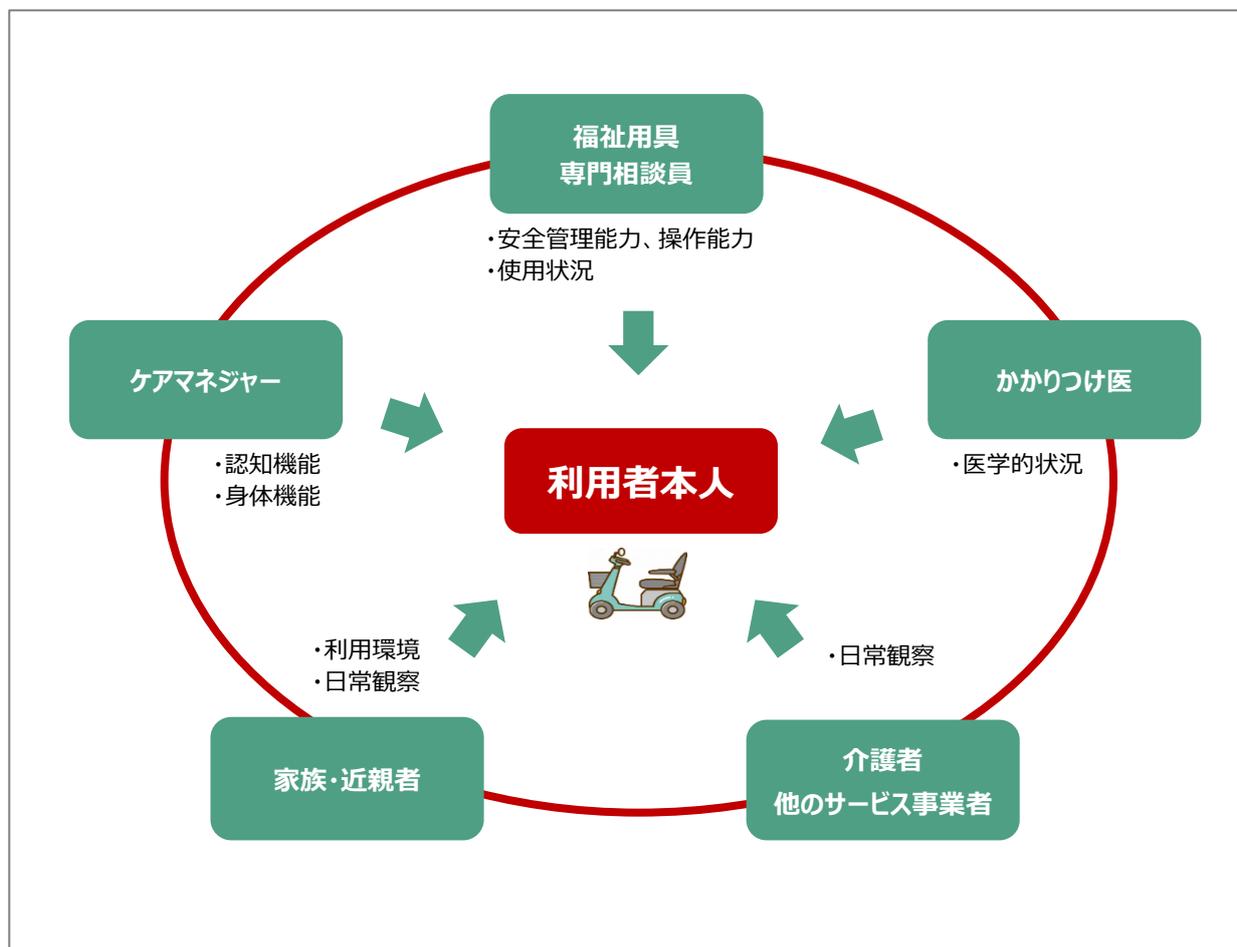
項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手
	病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

安全利用の Point

利用者への貸与継続要否や、貸与を継続した場合における再発防止策などを検討する上で、事故情報の詳細な確認は必須となります。**5W1H を明確にするとともに、「発生した事実」に基づいて報告することが大切となります。**

4. まとめ

[ケアチームでの連携による多面的な評価・判断]



本ガイドラインは、福祉用具専門相談員を対象に、主としてハンドル形電動車椅子の安全利用の観点から、貸与可否の判断に関する考え方や指針等を貸与実務のフローに沿ってとりまとめたものです。

しかしながら、安全利用の判断は福祉用具専門相談員のみでの評価で行うものではなく、利用者の家族の意向に加え、ケアマネジャー、かかりつけ医などの専門的な知見を有する関係者の意見も踏まえつつ、多面的な評価を経た上で、最終的にはケアチームとして判断を行うことになります。このため、こうした関係者との普段からの連携が極めて大切なポイントとなります。

巻末資料 1 : 各種チェックリスト

- － ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト
- － モニタリングチェックリスト
- － メンテナンスチェックリスト

巻末資料 2 : 事故報告書フォーマット

ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト

操作指導開始前の準備・確認

分類	実施項目	チェック欄
機種の選定	<input type="checkbox"/> 利用者のニーズを踏まえ、複数機種の提示を行う <input type="checkbox"/> 付属品等をつけた結果、車体の大きさの基準（※）を超過する場合は、住所地を管轄する警察署で、予め確認申請手続を済ませておく。 （※）長さ120cm以内、幅70cm以内、高さ120cm以内（ヘッドサポートを除いた高さ） <input type="checkbox"/> 急坂がある場合は、登降坂性能に関する警告機能の付いた機種を選ぶ	<input type="checkbox"/>
試乗ルートの設定	<input type="checkbox"/> 収集した情報をもとに、利用頻度の高い目的地を選び、試乗ルートを設定する <input type="checkbox"/> 試乗ルートに踏切・坂道がないか、交通量が多いかをどうかを、予め利用者に確認する	<input type="checkbox"/>
安全な練習場所の確保	<input type="checkbox"/> 「基本的な操作指導」を行うのに適した場所（人気の少ない平らな広い場所）を選ぶ	<input type="checkbox"/>
保管場所の確認	<input type="checkbox"/> スペースの広さ、出し入れの容易さ、電源の場所を確認する	<input type="checkbox"/>
自宅前道路の状況確認	<input type="checkbox"/> 自宅敷地からの段差、自宅前道路の状況（広さ、勾配など）、交通量を確認する	<input type="checkbox"/>
その他注意事項	<input type="checkbox"/> 明るい色の長袖・長ズボンおよび帽子の着用を促す <input type="checkbox"/> 「飲酒状態での操作」、「走行中の携帯電話の使用」は厳禁である旨を事前に念押しする	<input type="checkbox"/>

操作に関する指導・評価項目

①基本事項の説明

「電」:電動車いす安全普及協会冊子 / 「テ」:テクノイド協会冊子

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度6km/h）	電:- テ:8	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	電:1~4 テ:3		

②試乗（その1）基本的な操作指導

乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <input type="checkbox"/> 乗ってから電源「入（ON）」 <input type="checkbox"/> 電源「切（OFF）」にしてから降りる <input type="checkbox"/> 座席の回転方法 <input type="checkbox"/> ひじかけの操作（坂道で体を保持） <運転前確認事項> <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）の残量確認 <input type="checkbox"/> 速度設定（まずは最低速度から） <input type="checkbox"/> バックミラー調節 <input type="checkbox"/> アクセル・ブレーキの効き具合確認	電:5~7 テ:8	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）> <input type="checkbox"/> ①キー・電源スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ②アクセル操作（電磁ブレーキ） <input type="checkbox"/> ③ハンドル操作 <input type="checkbox"/> ④速度設定スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑤ウインカー操作 <input type="checkbox"/> ⑥ライトスイッチ操作（常に点灯） <input type="checkbox"/> ⑦手動ブレーキ操作 <input type="checkbox"/> ⑧クラッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑨バックミラーの調整及び確認 <input type="checkbox"/> ⑩クラクション操作 <input type="checkbox"/> ⑪手押しスイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑫音声案内機能操作	電:- テ:7	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）> <input type="checkbox"/> ①前進（低速→中速→高速）・後進 <input type="checkbox"/> ②停止 <input type="checkbox"/> ③右折・左折（内輪差）・旋回 <input type="checkbox"/> ④急停止（アクセルを強く握るなどの機能が備わっている場合） <input type="checkbox"/> ⑤段差昇降（静止状態で3cm）	電:- テ:-	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり

③試乗（その2）路上での実践指導

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
(1) 主な禁止事項・ 注意事項の説明	<p><主な禁止事項></p> <input type="checkbox"/> 1人での踏切横断、1人での夜間使用 <input type="checkbox"/> 急坂での使用 <input type="checkbox"/> 道路の斜め横断 <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 走行中の携帯電話の使用	電:11~12 テ:10~13	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(2) 自宅付近での 操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(3) 実使用ルート での指導	<p><操作面の指導></p> <input type="checkbox"/> 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作（復習） <input type="checkbox"/> 危険回避にかかわる指導	電:10~13 テ:14~19	<p><全般></p> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p><安全面での指導></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端を走行 <input type="checkbox"/> 段差・歩行者・障害物への対応の仕方 <input type="checkbox"/> 右左折時の留意点 （内輪差の認識。ウインカーの消し忘れに注意） <input type="checkbox"/> 要所要所での安全確認 （交差点、信号、横断歩道） <input type="checkbox"/> 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法 <input type="checkbox"/> 訪問先（スーパー、病院など）での駐車場所 <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での走行		<p><安全面></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか	
	<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 踏切や急坂は走行しない（別の迂回ルートを使う。やむを得ず走行する場合は介助者が同伴） <input type="checkbox"/> 日中に自宅に戻ることが可能な範囲内での利用とし、夜間や悪天候での利用は控える。 <input type="checkbox"/> 飲酒状態での利用は厳禁。		<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か	
(4) 事故・故障時に 備えた指導	<p><考え方></p> <input type="checkbox"/> まずは自身の安全を確保（その場から離れるのが基本） <input type="checkbox"/> 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる <input type="checkbox"/> 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（軽微な事故・トラブルでも必ず連絡）	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p><非常時の操作></p> <input type="checkbox"/> 手動操作の方法 （非常時以外はクラッチ操作を絶対にしない）			

その他気づき事項

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点：） <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由：） <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---

モニタリングチェックリスト

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観等で目立つキズはないか ■ 走行機能は正常か 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	■ 利用目的に照らし、適切な距離か	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか ■ 交通法規を遵守しているか ■ 契約時の確認事項を遵守しているか ■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか ■ 契約時に想定していた使用ルートで危険箇所が新たに生じていないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	

全般所見	
------	--

メンテナンスチェックリスト

番号	主な点検項目	チェックポイント	確認結果	異常ありの場合の是正処置
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
2	ハンドル	操作時にゆるみやがたつきがないか、まっすぐ進むか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
5	表示パネル	正常に表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
10	アクセルレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
16	反射板	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
17	クラッチハンドル	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
18	シートの回転レバー	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
19	オイルの状況	オイル漏れがないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

全般所見	
------	--

事故報告書フォーマット	
項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 □午前 □午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手 病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署 ）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

事故報告書フォーマット

【事故現場付近見取り図】

[福祉用具専門相談員向け]

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における
安全利用のためのガイドライン

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和3年3月

発行： 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

【事務局支援】MS&AD インターリスク総研株式会社

[福祉用具専門相談員向け]

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における 安全利用のための指導手順書

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和3年3月

一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

はじめに

ハンドル形電動車椅子を利用者に安全に利用してもらうためには、福祉用具専門相談員として利用者が安全に利用できるかどうかの評価に加えて、貸与プロセス全般を通じて丁寧に指導を行うことが不可欠となります。

このため、一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会では、福祉用具専門相談員の皆様を対象とした「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のための指導手順書」を作成しました。

本冊子では、ハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうために、福祉用具専門相談員が利用者に対して行うべき指導の内容・手順を示しています。また巻末資料では、評価項目や指導項目を一覧化したチェックシートや、本冊子で紹介している各種の書式例をとりまとめており、指導の現場で活用いただけるようになっています。

利用者が安全に利用できるかどうかを見極めるに際しての考え方や評価項目をとりまとめた、別冊子「「ハンドル形電動車椅子の貸与実務における安全利用のためのガイドライン」と併せ、福祉用具専門相談員の皆様が本冊子を活用し、利用者に対する適切な指導を通じて、ハンドル形電動車椅子の安全利用の更なる促進につながれば幸いです。

本冊子は、各種の電動車椅子の中でも、最も普及台数の多い「ハンドル形電動車椅子」に関する内容となっています。また介護保険による貸与のケースを対象としています。

目次

第 1 章 全般	1
1. 本冊子の全体像.....	1
2. 参考冊子（本冊子と併せて使用する冊子など）.....	2
3. ハンドル形電動車いすの各部名称.....	3
第 2 章 安全利用のための指導手順	4
1. 試乗の際の安全操作指導.....	4
(1) 操作指導開始前の準備・確認.....	4
(2) 操作指導.....	5
2. 貸与開始時の安全指導.....	9
3. モニタリング・メンテナンス時の安全指導.....	10
(1) モニタリング時の安全指導.....	10
(2) メンテナンス時の安全指導.....	11
4. まとめ.....	12
巻末資料	12

第1章 全般

1. 本冊子の全体像

本冊子では、ハンドル形電動車椅子を利用者に安全に利用してもらうために、利用開始にあたって福祉用具専門相談員が指導すべき内容・手順を説明しています。指導の主な場面、およびそれぞれの場面における指導内容・手順の全体像は以下の通りです。

1. 試乗の際の安全操作指導	P4
(1) 操作指導開始前の準備・確認	P4
(2) 操作指導	P5
① 基本事項の説明	P5
② 試乗（その1）基本的な操作指導	P5
「乗降・運転前確認」、「静止状態での指導」、「走行状態での指導」	
③ 試乗（その2）路上での実践指導	P6
「主な禁止事項・注意事項の説明」、「自宅付近での操作指導」、「実使用ルートでの指導」、「事故・故障時に備えた指導」	
2. 貸与開始時の安全指導	P9
重要事項の再指導	P9
3. モニタリング・メンテナンス時の安全指導	P10
(1) モニタリング時の安全指導	P10
(2) メンテナンス時の安全指導	P11

2. 参考冊子（本冊子と併せて使用する冊子など）

本冊子は、福祉用具専門相談員の皆様が行う、ハンドル形電動車椅子の貸与可否の評価に的を絞った内容としています。利用者に対する実際の評価にあたっては、併せて以下の冊子類を併用するようにしてください。

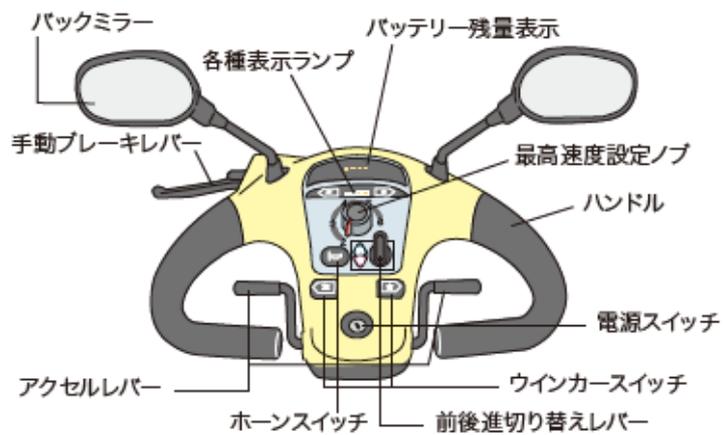
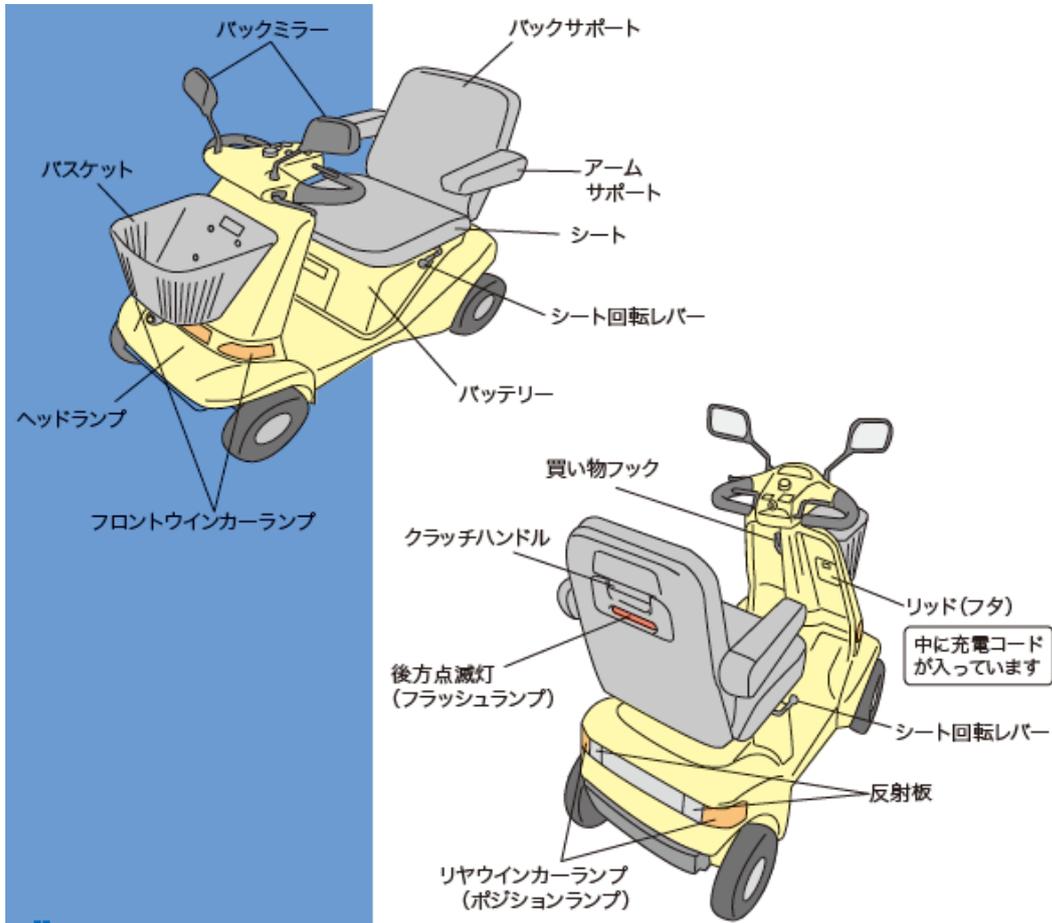
[参考冊子（出典）]

- ・「電動車いす 安全利用の手引」（電動車いす安全普及協会）
https://www.den-anky.org/guidance/img/tebiki_all.pdf
- ・「電動三輪車四輪車 使い方手引き」（公益財団法人テクノエイド協会）
<http://www.techno-aids.or.jp/research/vol13.pdf>



3. ハンドル形電動車いすの各部名称

本冊子は、福祉用具専門相談員の皆様が行う、ハンドル形電動車椅子の貸与可否の評価に的を絞った内容としています。利用者に対する実際の評価にあたっては、併せて以下の冊子類を併用するようにしてください。



[出典] 「電動三輪車四輪車 使い方手引き」
(公益財団法人テクノエイド協会)

第2章 安全利用のための指導手順

1. 試乗の際の安全操作指導

(1) 操作指導開始前の準備・確認

利用者のほとんどは初めてハンドル形電動車椅子を使用する方であるため、**まずは、安全に試乗を行ってもらうための事前の準備や確認が必要**となります。主な準備・確認事項を以下に示します。

巻末資料 1 参照

分類	実施項目
機種を選定	<input type="checkbox"/> 利用者のニーズを踏まえ、複数機種の提示を行う。 <input type="checkbox"/> 付属品等をつけた結果、車体の大きさの基準（※）を超過する場合は、住所地を管轄する警察署で、予め確認申請手続を済ませておく。 （※）長さ 120cm 以内、幅 70cm 以内、高さ 120cm 以内（ヘッドサポートを除いた高さ） <input type="checkbox"/> 急坂がある場合は、登降坂性能に関する警告機能の付いた機種を選ぶ
試乗ルートを設定	<input type="checkbox"/> 収集した情報をもとに、利用頻度の高い目的地を選び、試乗ルートを設定する。 <input type="checkbox"/> 試乗ルートに踏切・坂道がないか、交通量が多いかをどうかを、予め利用者に確認する。
安全な練習場所の確保	<input type="checkbox"/> 「基本的な操作指導」を行うのに適した場所（人気の少ない平らな広い場所）を選ぶ
保管場所の確認	<input type="checkbox"/> スペースの広さ、出し入れの容易さ、電源の場所を確認する
自宅前道路の状況確認	<input type="checkbox"/> 自宅敷地からの段差、自宅前道路の状況（広さ、勾配など）、交通量を確認する
その他注意事項	<input type="checkbox"/> 明るい色の長袖・長ズボンおよび帽子の着用を促す。 <input type="checkbox"/> 「飲酒状態での操作」、「走行中の携帯電話の使用」は厳禁である旨を事前に念押しする。

指導時の Point

- 試乗ルートの設定に際し、危険性の高い場所が存在する場合は、迂回路の有無も含め、下見を行うようにします。
- 後述する「基本的な操作指導」について、やむなく路上を使用する場合は、安全確保の観点から複数名（指導担当・路上安全確認担当）を手配するようにします。

(2) 操作指導

① 基本事項の説明

実際の操作指導に入る前に、ハンドル形電動車椅子の構造・機能や、利用にあたって遵守すべき交通法規、などの基本的な事項を説明し、ハンドル形電動車椅子とはどういうものなのかの概要を理解してもらうようにします。

巻末資料 1 参照

分類	指導内容
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度 6km/h）
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）

② 試乗（その1）基本的な操作指導

ここからは具体的な操作指導となりますが、**いきなり路上を走行してもらうのは危険です。**まずは静止した状態で基本となる操作方法を説明し、その後安全な場所で実際に動かしてもらう段取りで指導を進めます。

巻末資料 1 参照

分類	指導内容
乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <input type="checkbox"/> 乗ってから電源「入（ON）」 <input type="checkbox"/> 座席の回転方法 <input type="checkbox"/> 電源「切（OFF）」にしてから降りる <input type="checkbox"/> ひじかけの操作（坂道で体を保持） <運転前確認事項> <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）の残量確認 <input type="checkbox"/> バックミラー調節 <input type="checkbox"/> 速度設定（まずは最低速度から） <input type="checkbox"/> アクセル・ブレーキの効き具合確認
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）> <input type="checkbox"/> ①キー・電源スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ②アクセル操作（電磁ブレーキ） <input type="checkbox"/> ③ハンドル操作 <input type="checkbox"/> ④速度設定スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑤ウインカー操作 <input type="checkbox"/> ⑥ライトスイッチ操作（常に点灯） <input type="checkbox"/> ⑦手動ブレーキ操作 <input type="checkbox"/> ⑧クラッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑨バックミラーの調整及び確認 <input type="checkbox"/> ⑩クラクション操作 <input type="checkbox"/> ⑪手押しスイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑫音声案内機能操作
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）> <input type="checkbox"/> ①前進（低速⇒中速⇒高速）・後進 <input type="checkbox"/> ②停止 <input type="checkbox"/> ③右折・左折（内輪差）・旋回 <input type="checkbox"/> ④急停止（アクセルを強く握るなどの機能が備わっている場合） <input type="checkbox"/> ⑤段差昇降（静止状態で 3cm）

指導時の Point

- 試乗時に事故を起こさないよう、特に運転前確認時のアクセル・ブレーキの効きについては、事前に相談員自身で確認しておくようにします。また最初の走行指導の際は、必ず最低速度で行うようにします。
- 運転免許保有歴のない利用者に対しては、1つ1つを指さして分かりやすく丁寧に説明するようにします。

③試乗（その2）路上での実践指導

基本的な操作指導が終了したら、いよいよ実践的な指導となります。まずは路上を走行する際の禁止事項・注意事項を説明した上で、保管場所からの出し入れや、自宅敷地から自宅前道路での出し入れなど、主に自宅付近での操作指導から始めます。

巻末資料 1 参照

分類	指導内容
(1) 主な禁止事項・ 注意事項の説明	<主な禁止事項> <input type="checkbox"/> 1人での踏切横断、1人での夜間使用 <input type="checkbox"/> 急坂での使用 <input type="checkbox"/> 道路の斜め横断 <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 走行中の携帯電話の使用 <主な注意事項> <input type="checkbox"/> 段差・溝の走行（直角に進入） <input type="checkbox"/> バッテリー（満充電にしてから利用） <input type="checkbox"/> 歩道の利用（歩行者との接触に注意） <input type="checkbox"/> 内輪差（曲る時は少し大回りに）
(2) 自宅付近での操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電

指導時の Point

- <主な禁止事項> で記した事項は、いずれも重大な事故につながる可能性のある行為であるため、機会あるごとに繰り返し指導することが大切です。
- 保管場所や自宅前道路からの出し入れは、使用環境が大きく変化する場面となりますので、慣れるまで繰り返し練習してもらいます。

③試乗（その2）路上での実践指導（続き）

ここまでの指導で操作に**ある程度慣れてきたら、メインとなる路上での実践指導に移ります。**予め設定した使用ルートを実際に同伴し、指導した操作がスムーズにできているか、危険な運転をしているか、実使用ルートで危険な箇所がないかを確認します。

巻末資料 1 参照

分類	指導内容
<p>(3) 実使用ルートでの指導</p>	<p><操作面の指導></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作（復習） <input type="checkbox"/> 危険回避にかかわる指導 <p><安全面での指導></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端を走行 <input type="checkbox"/> 段差・歩行者・障害物への対応の仕方 <input type="checkbox"/> 右左折時の留意点（内輪差の認識。ウインカーの消し忘れに注意） <input type="checkbox"/> 要所要所での安全確認（交差点、信号、横断歩道） <input type="checkbox"/> 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法 <input type="checkbox"/> 訪問先（スーパー、病院など）での駐車場所 <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での走行 <p><環境面></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 踏切や急坂は走行しない （別の迂回ルートを使う。やむを得ず走行する場合は介助者が同伴） <input type="checkbox"/> 日中に自宅に戻ることが可能な範囲内での利用とし、夜間や悪天候での利用は控える。 <input type="checkbox"/> 飲酒状態での利用は厳禁。

指導時の Point

- 本質的な理解を促すためには、注意事項（「気を付けること」）だけでなく、理由（「なぜ気を付けるのか」）についても丁寧に説明することが必要です。また良かった点を具体的に利用者に伝えることも、安全利用のモチベーション向上につながります。
- 1つの試乗ルートで指導項目が網羅できない場合、可能であれば他のルートを使って確認しましょう。
- 操作がスムーズにできるかどうかも大切ですが、その前に交通法規を正しく守っているかどうか安全利用の大前提となります。このため、**操作面のみならず、交通法規遵守の面についても重点的に指導を行い、問題ないかどうかを確認することが大切です。**

③試乗（その2）路上での実践指導（続き）

操作指導が一通り終了したら、最後に事故・故障時などの非常時に備えた指導も行います。**まずは危険な状態から脱することを最優先し、身の安全を確保できた段階で緊急連絡を行うことが鉄則**となります。

巻末資料 1 参照

分類	指導内容
(4) 事故・故障時に備えた指導	<考え方> <input type="checkbox"/> まずは自身の安全を確保（その場から離れるのが基本） <input type="checkbox"/> 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる <input type="checkbox"/> 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（軽微な事故・トラブルでも必ず連絡） <非常時の操作> <input type="checkbox"/> 手動操作の方法（非常時以外はクラッチ操作を絶対にしない）

指導時の Point

- 利用者が自力で緊急時に対処することができない場合も多いため、利用の際は携帯電話に加え、ブザーや笛など周囲に異変を知らせる手段についてもアドバイスをいたしましょう。
- イザという時に対応できるよう、緊急停止などの非常時の操作については、安全を確保した上で実際に試してもらいましょう。

2. 貸与開始時の安全指導

貸与の開始にあたり、安全利用に関する重要事項について、再度利用者に説明します。
主な重要事項としては下記の項目が挙げられますが、試乗時の指導の際に気になった点については、特に重点的に指導します。

<使用開始時の重要事項>

- バッテリー容量に注意

<利用時の重要事項>

- 坂道・傾斜地での走行（重心のかけ方）
- 歩道または道路の右端を走行
- 段差・歩行者・障害物への対応の仕方
- 右左折時の留意点（内輪差の認識）
- 要所要所での安全確認（交差点、信号、横断歩道）
- 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法

<緊急時における重要事項>

- 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる（ブザーや笛などを常に携帯）
- 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（携帯電話を常に携帯。ただし操作しながらの走行は禁止）

指導時の Point

- 口頭のみで説明するのではなく、貸与時に一緒に渡す安全利用の手引や取扱説明書を用いて、該当箇所を指し示したり、ペンでマークをつけるなど、利用者にとって分かりやすい工夫を心がけることが望まれます。

3. モニタリング・メンテナンス時の安全指導

(1) モニタリング時の安全指導

P19の「モニタリング時の確認項目」を踏まえ、「問題あり」の項目があった場合、問題点に応じた指導を行います。特に下記のうちの「**操作面**」、「**安全面**」、「**使用環境**」については、**利用者の路上走行に相談員も同行し、正しく実践できていない場合は、その場で指導を行うようにします。**

[モニタリング時の確認項目（安全利用に関する状況）]

巻末資料 1 参照

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果
安全利用に関する状況	1	製品の状態	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外観等で目立つキズはないか ■ 走行機能は正常か 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	2	走行距離	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利用目的に照らし、適切な距離か 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	3	操作面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	4	安全面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか ■ 交通法規を遵守しているか ■ 契約時の確認事項を遵守しているか ■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	5	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか ■ 契約時に想定していた使用ルートで危険個所が新たに生じていないか 	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり

指導時の Point

- 問題事象の背後には直接的な原因があり、さらにその背後には間接的な原因が含まれている場合もあります。このため指導の際は、表面に現れる問題事象だけを見るのではなく、「なぜ」を繰り返して問題事象の本質的な原因を掴むことが大切となります。

(2) メンテナンス時の安全指導

メンテナンスにおいては、故障や破損等の不具合の有無を詳細に確認しますが、**不具合の内容によっては、操作ミス、安全確認の不足、目的外利用などの不適切な使用が疑われる場合があります。**主な着目点は以下の通りとなりますが、こうした状況が見られた場合は、不具合の発生原因を利用者に確認し、当該原因を踏まえた上で利用者に対して改めて安全指導を行います。

[不適切な使用が疑われる不具合の例]

1. 車体や足回りに損傷や変形がある	
想定される問題点	指導内容
不適切なハンドル操作	正しいハンドル操作方法
車体サイズの認識不良	車幅感覚
前方・左右・後方の確認不足	前方・左右・後方の確認方法
状況に応じた減速・停止の未実施	状況に応じた減速・停止

2. 走行距離が極端に長い、タイヤの摩耗が激しい	
想定される問題点	指導内容
目的外利用	目的の範囲内での利用

3. バックミラー位置の不良	
想定される問題点	指導内容
後方未確認	後方確認の徹底

4. ホーンスイッチ周辺の汚れ	
想定される問題点	指導内容
ホーンの未使用	必要な時に鳴らすよう指導

指導時の Point

メンテナンスで指摘するまで、使用者が不具合に気づいていないこともあります。このため、気づかなかった不具合があれば、不具合発生時の特徴（異音、振動、制動距離など）についても説明し、おかしいと感じたらすぐに連絡するよう指導することも重要です。

4. まとめ

[ハンドル形電動車椅子の安全利用のための指導手順のまとめ]

指導場面	指導内容	指導のポイント	
1. 試乗の際の安全 操作指導	(1)事前の準備・確認	安全に試乗を行ってもらうための、事前の準備や確認を励行する。	
	(2)操作指導	①基本事項の説明	ハンドル形電動車椅子の特性や交通法規を正しく理解してもらう。
		②基本的な操作指導	まずは静止した状態で基本となる操作方法を説明する。 (いきなり路上を走行させない)
		③路上での実践指導	以下の手順で指導する。 1)「主な禁止事項・注意事項の説明」 2)「自宅付近での操作指導」 3)「実使用ルートでの指導」 4)「事故・故障時に備えた指導」
2. 貸与開始時の安全 指導	重要事項の再指導	安全利用に関する重要事項について、利用者に再度念押しをする。	
3. モニタリング・メンテナンス 時の安全指導	(1)モニタリング時の安全指導	「モニタリング時の確認項目」を踏まえ、問題点に応じた指導を行う。	
	(2)メンテナンス時の安全指導	不具合の発生原因を踏まえ、利用者に対して安全指導を行う。	

利用者にハンドル形電動車椅子を安全に利用してもらうためには、貸与プロセス全般を通じた福祉用具専門相談員による丁寧な指導が不可欠となります。一連の指導で最も重要なことは「安全が何よりも優先する」ことを利用者に認識してもらうことです。そのためにもまずは、福祉用具専門相談員自身が安全重視のスタンスに立ち、繰り返し根気強く指導を行うことが事故防止につながります。

巻末資料

巻末資料 1 : 各種チェックリスト

- － ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト
- － モニタリングチェックリスト
- － メンテナンスチェックリスト

巻末資料 2 : 事故報告書フォーマット

ハンドル形電動車椅子の操作に関する指導および評価に関するチェックリスト

操作指導開始前の準備・確認

分類	実施項目	チェック欄
機種の選定	<input type="checkbox"/> 利用者のニーズを踏まえ、複数機種の提示を行う <input type="checkbox"/> 付属品等をつけた結果、車体の大きさの基準（※）を超過する場合は、住所地を管轄する警察署で、予め確認申請手続を済ませておく。 （※）長さ120cm以内、幅70cm以内、高さ120cm以内（ヘッドサポートを除いた高さ） <input type="checkbox"/> 急坂がある場合は、登降坂性能に関する警告機能の付いた機種を選ぶ	□
試乗ルートの設定	<input type="checkbox"/> 収集した情報をもとに、利用頻度の高い目的地を選び、試乗ルートを設定する <input type="checkbox"/> 試乗ルートに踏切・坂道がないか、交通量が多いかをどうかを、予め利用者に確認する	□
安全な練習場所の確保	<input type="checkbox"/> 「基本的な操作指導」を行うのに適した場所（人気の少ない平らな広い場所）を選ぶ	□
保管場所の確認	<input type="checkbox"/> スペースの広さ、出し入れの容易さ、電源の場所を確認する	□
自宅前道路の状況確認	<input type="checkbox"/> 自宅敷地からの段差、自宅前道路の状況（広さ、勾配など）、交通量を確認する	□
その他注意事項	<input type="checkbox"/> 明るい色の長袖・長ズボンおよび帽子の着用を促す <input type="checkbox"/> 「飲酒状態での操作」、「走行中の携帯電話の使用」は厳禁である旨を事前に念押しする	□

操作に関する指導・評価項目

①基本事項の説明 「電」:電動車いす安全普及協会冊子 / 「テ」:テクノイド協会冊子

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度6km/h）	電: - テ: 8	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	電: 1~4 テ: 3		

②試乗（その1）基本的な操作指導

乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <input type="checkbox"/> 乗ってから電源「入（ON）」 <input type="checkbox"/> 電源「切（OFF）」にしてから降りる <input type="checkbox"/> 座席の回転方法 <input type="checkbox"/> ひじかけの操作（坂道で体を保持） <運転前確認事項> <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）の残量確認 <input type="checkbox"/> 速度設定（まずは最低速度から） <input type="checkbox"/> バックミラー調節 <input type="checkbox"/> アクセル・ブレーキの効き具合確認	電: 5~7 テ: 8	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）> <input type="checkbox"/> ①キー・電源スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ②アクセル操作（電磁ブレーキ） <input type="checkbox"/> ③ハンドル操作 <input type="checkbox"/> ④速度設定スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑤ウインカー操作 <input type="checkbox"/> ⑥ライトスイッチ操作（常に点灯） <input type="checkbox"/> ⑦手動ブレーキ操作 <input type="checkbox"/> ⑧クラッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑨バックミラーの調整及び確認 <input type="checkbox"/> ⑩クラクション操作 <input type="checkbox"/> ⑪手押しスイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑫音声案内機能操作	電: - テ: 7	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）> <input type="checkbox"/> ①前進（低速⇒中速⇒高速）・後進 <input type="checkbox"/> ②停止 <input type="checkbox"/> ③右折・左折（内輪差）・旋回 <input type="checkbox"/> ④急停止（アクセルを強く握るなどの機能が備わっている場合） <input type="checkbox"/> ⑤段差昇降（静止状態で3cm）	電: - テ: -	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり

③試乗（その2）路上での実践指導

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
(1) 主な禁止事項・ 注意事項の説明	<p><主な禁止事項></p> <input type="checkbox"/> 1人での踏切横断、1人での夜間使用 <input type="checkbox"/> 急坂での使用 <input type="checkbox"/> 道路の斜め横断 <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 走行中の携帯電話の使用	電:11~12 テ:10~13	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(2) 自宅付近での 操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(3) 実使用ルート での指導	<p><操作面の指導></p> <input type="checkbox"/> 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作（復習） <input type="checkbox"/> 危険回避にかかわる指導	電:10~13 テ:14~19	<p><全般></p> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p><安全面での指導></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端を走行 <input type="checkbox"/> 段差・歩行者・障害物への対応の仕方 <input type="checkbox"/> 右左折時の留意点 （内輪差の認識。ウインカーの消し忘れに注意） <input type="checkbox"/> 要所要所での安全確認 （交差点、信号、横断歩道） <input type="checkbox"/> 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法 <input type="checkbox"/> 訪問先（スーパー、病院など）での駐車場所 <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での走行		<p><安全面></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか	
	<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 踏切や急坂は走行しない（別の迂回ルートを使う。やむを得ず走行する場合は介助者が同伴） <input type="checkbox"/> 日中に自宅に戻ることが可能な範囲内での利用とし、夜間や悪天候での利用は控える。 <input type="checkbox"/> 飲酒状態での利用は厳禁。		<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か	
(4) 事故・故障時に 備えた指導	<p><考え方></p> <input type="checkbox"/> まずは自身の安全を確保（その場から離れるのが基本） <input type="checkbox"/> 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる <input type="checkbox"/> 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（軽微な事故・トラブルでも必ず連絡）	電:ー テ:ー	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p><非常時の操作></p> <input type="checkbox"/> 手動操作の方法 （非常時以外はクラッチ操作を絶対にしない）			

その他気づき事項

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点：） <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由：） <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---

モニタリングチェックリスト

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	■ 外観等で目立つキズはないか ■ 走行機能は正常か	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	■ 利用目的に照らし、適切な距離か	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか ■ 交通法規を遵守しているか ■ 契約時の確認事項を遵守しているか ■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか ■ 契約時に想定していた使用ルートで危険箇所が新たに生じていないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	

全般所見	
------	--

メンテナンスチェックリスト

番号	主な点検項目	チェックポイント	確認結果	異常ありの場合の是正処置
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
2	ハンドル	操作時にゆるみやがたつきがないか、まっすぐ進むか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
5	表示パネル	正常に表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
10	アクセルレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
16	反射板	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
17	クラッチハンドル	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
18	シートの回転レバー	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
19	オイルの状況	オイル漏れがないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

全般所見	
------	--

事故報告書フォーマット	
項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 □午前 □午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手 病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署 ）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

事故報告書フォーマット

【事故現場付近見取り図】

[福祉用具専門相談員向け]

ハンドル形電動車椅子の貸与実務における
安全利用のための指導手順書

-ハンドル形電動車椅子を安全にご利用いただくために-

令和3年3月

発行： 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会

【事務局支援】MS&AD インターリスク総研株式会社

ハンドル形電動自転車に関する指導および評価に関するチェックリスト

操作指導開始前の準備・確認

分類	実施項目	チェック欄
機種の選定	<input type="checkbox"/> 利用者のニーズを踏まえ、複数機種の提示を行う <input type="checkbox"/> 付属品等をつけた結果、車体の大きさの基準（※）を超過する場合は、住所地を管轄する警察署で、予め確認申請手続を済ませておく。 （※）長さ120cm以内、幅70cm以内、高さ120cm以内（ヘッドサポートを除いた高さ） <input type="checkbox"/> 急坂がある場合は、登降坂性能に関する警告機能の付いた機種を選ぶ	□
試乗ルートの設定	<input type="checkbox"/> 収集した情報をもとに、利用頻度の高い目的地を選び、試乗ルートを設定する <input type="checkbox"/> 試乗ルートに踏切・坂道がないか、交通量が多いかをどうかを、予め利用者に確認する	□
安全な練習場所の確保	<input type="checkbox"/> 「基本的な操作指導」を行うのに適した場所（人気の少ない平らな広い場所）を選ぶ	□
保管場所の確認	<input type="checkbox"/> スペースの広さ、出し入れの容易さ、電源の場所を確認する	□
自宅前道路の状況確認	<input type="checkbox"/> 自宅敷地からの段差、自宅前道路の状況（広さ、勾配など）、交通量を確認する	□
その他注意事項	<input type="checkbox"/> 明るい色の長袖・長ズボンおよび帽子の着用を促す <input type="checkbox"/> 「飲酒状態での操作」、「走行中の携帯電話の使用」は厳禁である旨を事前に念押しする	□

操作に関する指導・評価項目

① 基本事項の説明

「電」: 電動車いす安全普及協会冊子 / 「テ」: テクノエイド協会冊子

分類	指導内容	参照冊子ページ	評価項目	チェック・コメント記入欄
基本的な構造・機能	<input type="checkbox"/> バッテリー（電池）で動く <input type="checkbox"/> 速度は歩行者並み（最高速度6km/h）	電: - テ: 8	<input type="checkbox"/> 説明や特性を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
基本的な交通法規	<input type="checkbox"/> 歩道を通行 <input type="checkbox"/> 歩道がなければ右側通行（歩行者と同じ）	電: 1~4 テ: 3		

② 試乗（その1）基本的な操作指導

乗降・運転前確認	<安全な乗車・降車方法> <input type="checkbox"/> 乗ってから電源「入（ON）」 <input type="checkbox"/> 電源「切（OFF）」にしてから降りる <input type="checkbox"/> 座席の回転方法 <input type="checkbox"/> ひじかけの操作（坂道で体を保持） <運転前確認事項> <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）の残量確認 <input type="checkbox"/> 速度設定（まずは最低速度から） <input type="checkbox"/> バックミラー調節 <input type="checkbox"/> アクセル・ブレーキの効き具合確認	電: 5~7 テ: 8	<input type="checkbox"/> 歩行および乗車・降車が自力で安定してできるか <input type="checkbox"/> 説明通りに実践できるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導① 静止状態での指導	<操作指導内容（静止状態）> <input type="checkbox"/> ①キー・電源スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ②アクセル操作（電磁ブレーキ） <input type="checkbox"/> ③ハンドル操作 <input type="checkbox"/> ④速度設定スイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑤ウインカー操作 <input type="checkbox"/> ⑥ライトスイッチ操作（常に点灯） <input type="checkbox"/> ⑦手動ブレーキ操作 <input type="checkbox"/> ⑧クラッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑨バックミラーの調整及び確認 <input type="checkbox"/> ⑩クラクション操作 <input type="checkbox"/> ⑪手押しスイッチ操作 <input type="checkbox"/> ⑫音声案内機能操作	電: - テ: 7	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
操作指導② 走行状態での指導	<操作指導内容（走行状態）> <input type="checkbox"/> ①前進（低速⇒中速⇒高速）・後進 <input type="checkbox"/> ②停止 <input type="checkbox"/> ③右折・左折（内輪差）・旋回 <input type="checkbox"/> ④急停止（アクセルを強く握るなどの機能が備わっている場合） <input type="checkbox"/> ⑤段差昇降（静止状態で3cm）	電: - テ: -	<input type="checkbox"/> 操作手順が理解できるか <input type="checkbox"/> 操作がスムーズかつ確実にできているか <input type="checkbox"/> 反応速度に問題ないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり

③試乗（その2）路上での実践指導

分類	指導内容	参照冊子 ページ	評価項目	チェック・コメント 記入欄
(1) 主な禁止事項・ 注意事項の説明	<p><主な禁止事項></p> <input type="checkbox"/> 1人での踏切横断、1人での夜間使用 <input type="checkbox"/> 急坂での使用 <input type="checkbox"/> 道路の斜め横断 <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 走行中の携帯電話の使用	電:11~12 テ:10~13	<input type="checkbox"/> 説明を適切に理解できているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(2) 自宅付近での 操作指導	<input type="checkbox"/> 保管場所からの出し入れ <input type="checkbox"/> 自宅敷地から自宅前道路での出し入れ <input type="checkbox"/> バッテリー（電池）充電	電: - テ: -	<input type="checkbox"/> 衝突・転倒などのリスクはないか <input type="checkbox"/> 敷地から出る際に安全確認ができているか？ <input type="checkbox"/> 安全かつスムーズな出し入れができているか <input type="checkbox"/> 保管場所付近にコンセントはあるか、充電操作がスムーズにできるか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
(3) 実使用ルート での指導	<p><操作面の指導></p> <input type="checkbox"/> 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作（復習） <input type="checkbox"/> 危険回避にかかわる指導	電:10~13 テ:14~19	<p><全般></p> <input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できているか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか <input type="checkbox"/> 交通法規を守れているか <input type="checkbox"/> 危険の回避ができているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
	<p><安全面での指導></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端を走行 <input type="checkbox"/> 段差・歩行者・障害物への対応の仕方 <input type="checkbox"/> 右左折時の留意点 （内輪差の認識。ウインカーの消し忘れに注意） <input type="checkbox"/> 要所要所での安全確認 （交差点、信号、横断歩道） <input type="checkbox"/> 屋内施設（自動ドア、エレベーター）の対処方法 <input type="checkbox"/> 訪問先（スーパー、病院など）での駐車場所 <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での走行		<p><安全面></p> <input type="checkbox"/> 歩道または道路の右端をふらつきなく走行できているか <input type="checkbox"/> 歩行者や障害物を確実にかわし、安定走行を維持できるか <input type="checkbox"/> 段差の乗り越えは適切に対処できているか <input type="checkbox"/> 右左折時に内輪差を意識した走行ができているか <input type="checkbox"/> 安全に対する意識は十分か（目視確認、一時停止、最適速度、歩行者優先） <input type="checkbox"/> 信号の色を認識できるか <input type="checkbox"/> 周囲の音（車の接近音など）が聞こえているか <input type="checkbox"/> 自動ドアの通過やエレベーターの乗降はスムーズにできるか <input type="checkbox"/> 訪問先での保管・乗降スペースにおける安全性は問題ないか <input type="checkbox"/> 坂道・傾斜地での重心のかけ方は適切にできているか	
	<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 踏切や急坂は走行しない（別の迂回ルートを使う。やむを得ず走行する場合は介助者が同伴） <input type="checkbox"/> 日中に自宅に戻ることが可能な範囲内での利用とし、夜間や悪天候での利用は控える。 <input type="checkbox"/> 飲酒状態での利用は厳禁。		<p><環境面></p> <input type="checkbox"/> 走行経路の安全性に問題はないか - 急坂・踏切の有無 - 転落リスクの有無（ガードレールのない路肩の傾斜した道、ふたのない側溝や用水路など） - 車両や歩行者が多く歩道のない狭い道の有無 - 信号機の間隔が短い交差点、など <input type="checkbox"/> 1回の走行距離は満充電で十分に余裕のある範囲内か	
(4) 事故・故障時に 備えた指導	<p><考え方></p> <input type="checkbox"/> まずは自身の安全を確保（その場から離れるのが基本） <input type="checkbox"/> 自力で自身の安全を確保できない場合は、周囲に危険を知らせる <input type="checkbox"/> 家族・ケアマネジャー・相談員等に連絡（軽微な事故・トラブルでも必ず連絡）	電: - テ: -	<input type="checkbox"/> 指導した内容を理解し、実践できるか <input type="checkbox"/> 指導内容を軽視するような言動はみられないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
その他気づき事項				

総合所見	<input type="checkbox"/> 貸与可（課題・留意点：) <input type="checkbox"/> 再評価・再指導（理由：) <input type="checkbox"/> 貸与不可
------	---

モニタリングチェックリスト

分類	番号	主な確認項目	確認のポイント	確認結果	問題ありの場合の指導内容
安全利用に関する状況	1	製品の状態	■ 外観等で目立つキズはないか ■ 走行機能は正常か	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	2	走行距離	■ 利用目的に照らし、適切な距離か	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	3	操作面	■ 「走る・止まる・曲がる」にかかわる基本操作は問題なくできているか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	4	安全面	■ 貸与開始前の安全面での指導を実践できているか ■ 交通法規を遵守しているか ■ 契約時の確認事項を遵守しているか ■ 事故やヒヤリハットに遭遇していないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	
	5	使用環境	■ 契約時に想定していた使用目的やルートに変更はないか ■ 契約時に想定していた使用ルートで危険個所が新たに生じていないか	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり	

分類	番号	主な確認項目	内容
関係者の意見	1	家族の意見	
	2	ケアマネジャーの意見	
	3	他の医療・介護サービスからの意見（医療・認知・身体機能）	

全般所見	
------	--

メンテナンスチェックリスト

番号	主な点検項目	チェックポイント	確認結果	異常ありの場合の是正処置
1	車椅子の外観・足回り	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
2	ハンドル	操作時にゆりみやたつきがないか、まっすぐ進むか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
3	バッテリーの残量表示	正しく表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
4	バッテリーの状態	劣化・損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
5	表示パネル	正常に表示されるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
6	速度設定スイッチ	速度が正常に変化するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
7	ヘッドランプ	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
8	バックミラー	損傷がないか、正しく調整できているか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
9	手動ブレーキレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
10	アクセルレバー	利きが正常か	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
11	ホーンスイッチ（警笛）	正常に鳴るか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
12	前後進切り替えレバー	正常に切り替えできるか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
13	ウインカー（前・後）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
14	後方点滅灯（フラッシュ）	正常に点灯するか、損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
15	タイヤ	空気圧は適切か、摩耗していないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
16	反射板	損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
17	クラッチハンドル	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
18	シートの回転レバー	正常に作動するか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
19	オイルの状況	オイル漏れがないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	
20	充電器	正常に充電できるか、配線に損傷がないか	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 異常あり	

全般所見	
------	--

事故報告書フォーマット

項目	記入内容
記入日	年 月 日
記入者	
事故日時	年 月 日 □午前 □午後 時 分頃
事故場所	
事故状況・原因	
被害状況	
事故の相手	<input type="checkbox"/> なし（自損事故等）
	<input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 加害者 / <input type="checkbox"/> 被害者）
	氏名： 連絡先：
入院・通院の状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（入院） <input type="checkbox"/> 有（通院）
	（「有」の場合） 受診者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 相手 病院名（ ）
警察への届出	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（ 警察署 ）
電動車椅子の状況	破損状況：
	修理の要否 <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要（修理依頼予定先： ）
備考	（利用者・家族・ケアマネジャーのコメント、事故の相手方のコメントなど）
添付資料	<input type="checkbox"/> 事故現場の写真 <input type="checkbox"/> 電動車椅子の破損状態がわかる写真 <input type="checkbox"/> その他（ ）

事故報告書フォーマット

【事故現場付近見取り図】

